

# 田原本町民対象にした まちづくりアンケート

---

報告書

田原本町



## 目次

1 調査概要	1
2 調査結果	2
【1. 回答者属性】	
問1 性別	2
問2 年齢	3
問3 現在の居住地	4
問4 職業	5
問5 世帯構成	6
【2. 田原本町の暮らしやすさ】	
問6 田原本町の住みごち	7
問7 住みごちがよい理由	8
問8 住みごちがよい理由	9
問9 今後の居留意向	10
問10 日常生活で困っていること・不安に思っていること	11
問11 いま一番大切に思うこと	12
【3. 田原本町第3次総合計画の満足度、充実度】	
問12 満足度、充実度	13
【4. 田原本町のまちづくりについて】	
問13 特によくなったと思われるまちづくりの施策	20
問14 特によくなかったと思われるまちづくりの施策	21
問15 今後、行政と地域が一緒になって担うべきだと思われるまちづくり施策	22
問16 まちづくりへの参加について	23
問17 将来の田原本町について	24
問18 まちの誇れるもの、魅力について	25
【5. 定住促進や子育て支援による人口減少抑制策について】	
問19 人口減少のために行政が取り組むべきこと	26
問20 定住・移住促進のために行政が取り組むべきこと	27
問21 少子化抑制のために行政が取り組むべきこと	28
問22 その他、まちづくりについての意見、要望	29
3 調査票	40

# 1 調査概要

## (1)調査の目的

第3次田原本町総合計画の計画期間が平成19年度～平成28年度であることを受け、今年度第4次総合計画の作成の時期を迎え、広く町民の皆さま方のご意見、ご提言をうかがい、前期計画の検証を行いながら、今後5年間の田原本町の姿を描いていくことを目的に、町民2,500の方を対象とした、まちづくりアンケートを実施した。

## (2)調査方法

- ・ 調査対象：町民2,500人
- ・ 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ・ 調査方法：郵送法、無記名
- ・ 調査期間：平成27年12月25日～平成28年1月4日
- ・ 回答数：905件
- ・ 回答率：36.2%

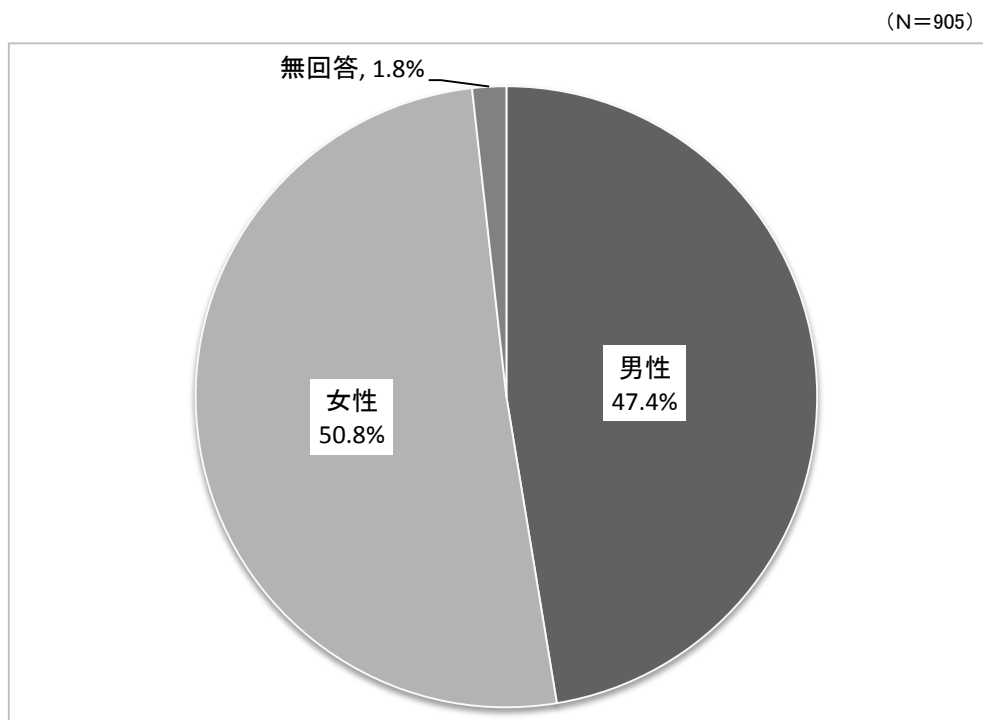
## (3)報告書の見方

- ・ 回答比率は、少数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。複数回答の設問については、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・ 図表中の「N」とはNumber of caseの略であり、回答者総数を表している。

## 2 調査結果

### 【1. 回答者属性】

#### 問1 性別

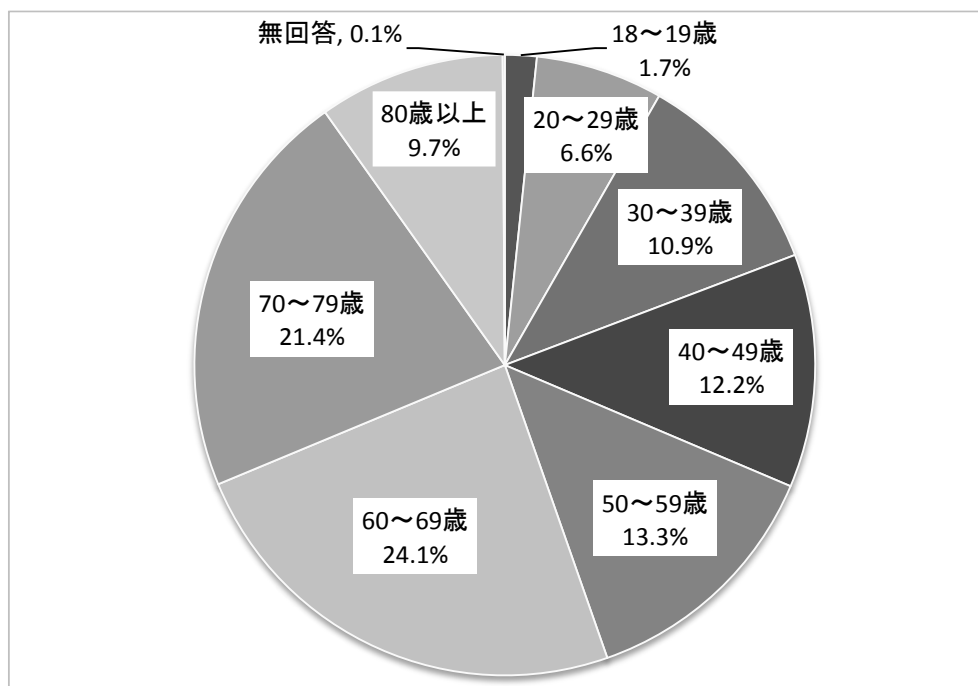


#### 男女比は1 : 1

- ・回答者の性別については、「男性」が47.4%、「女性」が50.8%となっており、男女比はほぼ1 : 1である。

## 問2 年齢

(N=905)

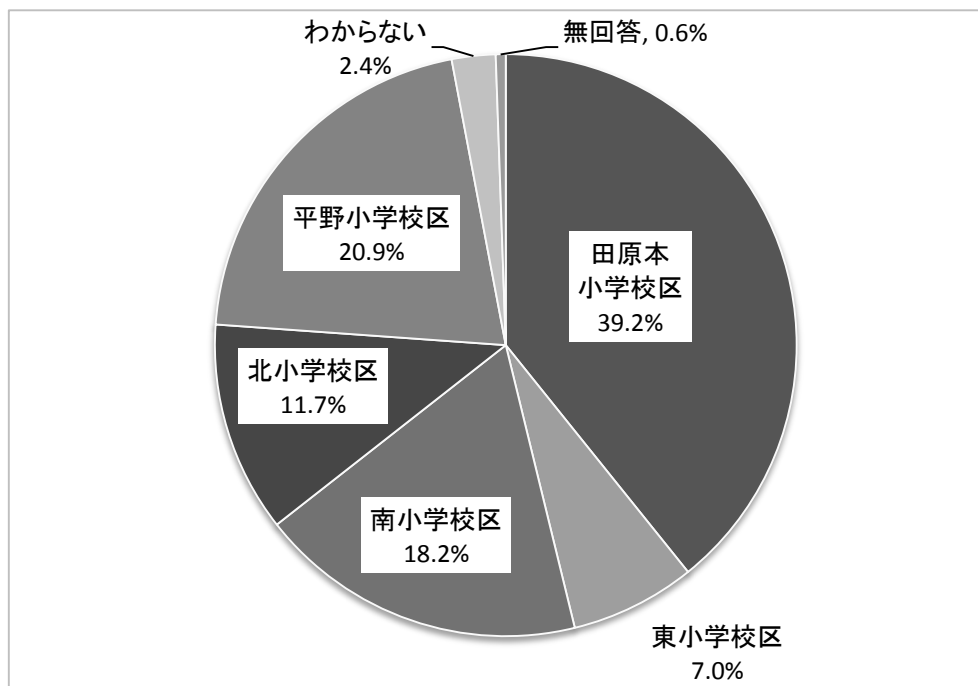


### 約7割が50歳以上の年配世代の回答者

- ・回答者の年齢については、「60歳代」が24.1%、「70歳代」が21.4%、「50歳代」が13.3%となっており、約7割が50歳以上の年配世代の回答者になっている。

問3 現在の居住地

(N=905)

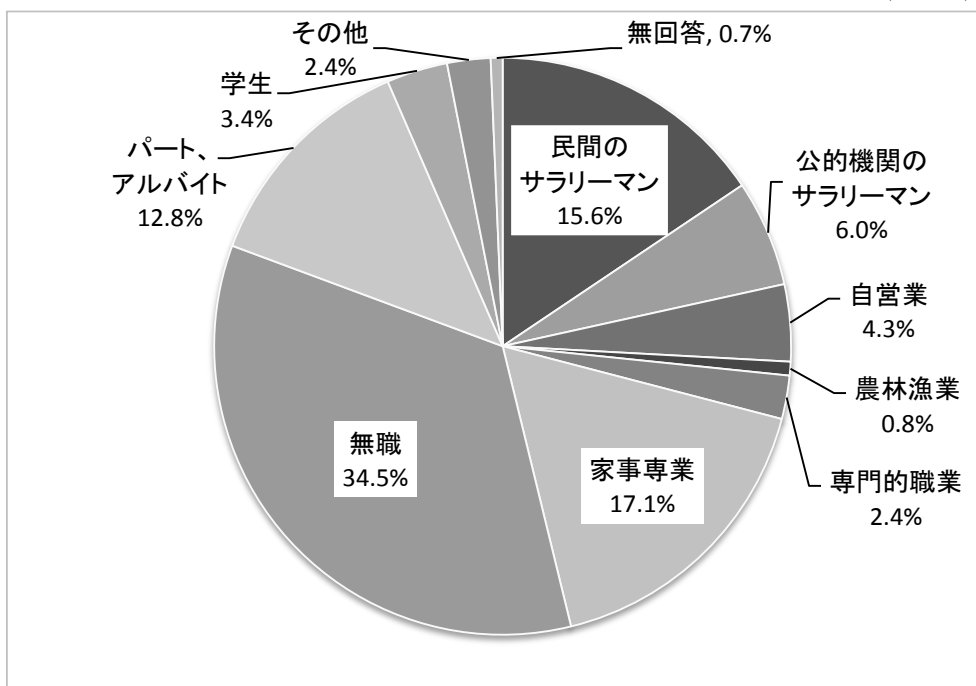


**約4割が田原本小学校区**

- ・回答者の現在の居住地については、「田原本小学校区」が39.2%、「平野小学校区」が20.9%、「南小学校区」が18.2%、「北小学校区」が11.7%、「東小学校区」が7.0%となっている。

#### 問4 職業

(N=905)



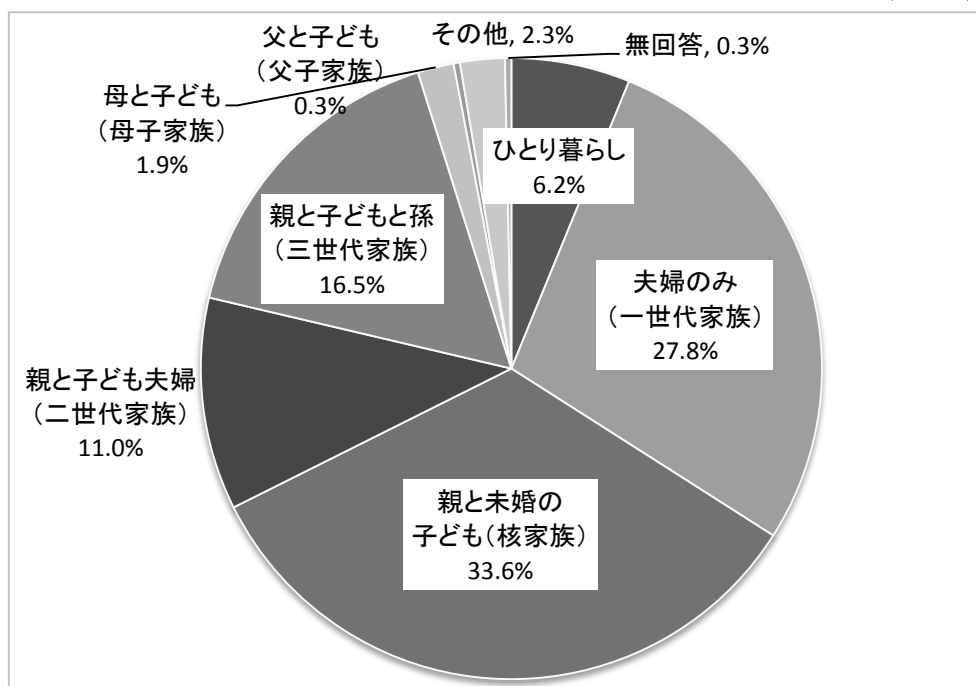
#### **約4割の回答者が無職**

- ・回答者の職業については、「家事専業」が17.1%、「民間のサラリーマン」が15.6%、「パート・アルバイト」が12.8%となっている。
- ・また、「無職」が34.5%となっている。



## 問5 世帯構成

(N=905)



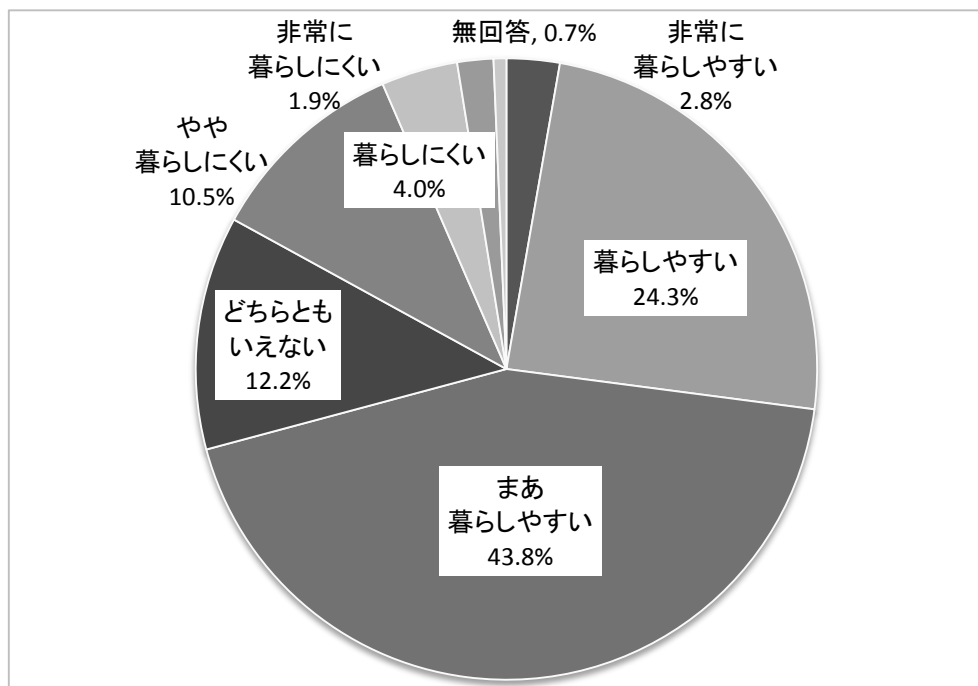
### 約5割が核家族（夫婦のみ、夫婦と未婚の子どもの合計）

- ・回答者の世帯構成については、「夫婦と未婚の子供（核家族）」が 33.6%、「夫婦のみ（一世代世帯）」が 27.8%、「親と子どもと孫（三世代世帯）」が 16.5%となっている。

## 【2. 田原本町の暮らしやすさ】

問6 田原本町での住みごちはいかがですか。1つだけ選んでください。

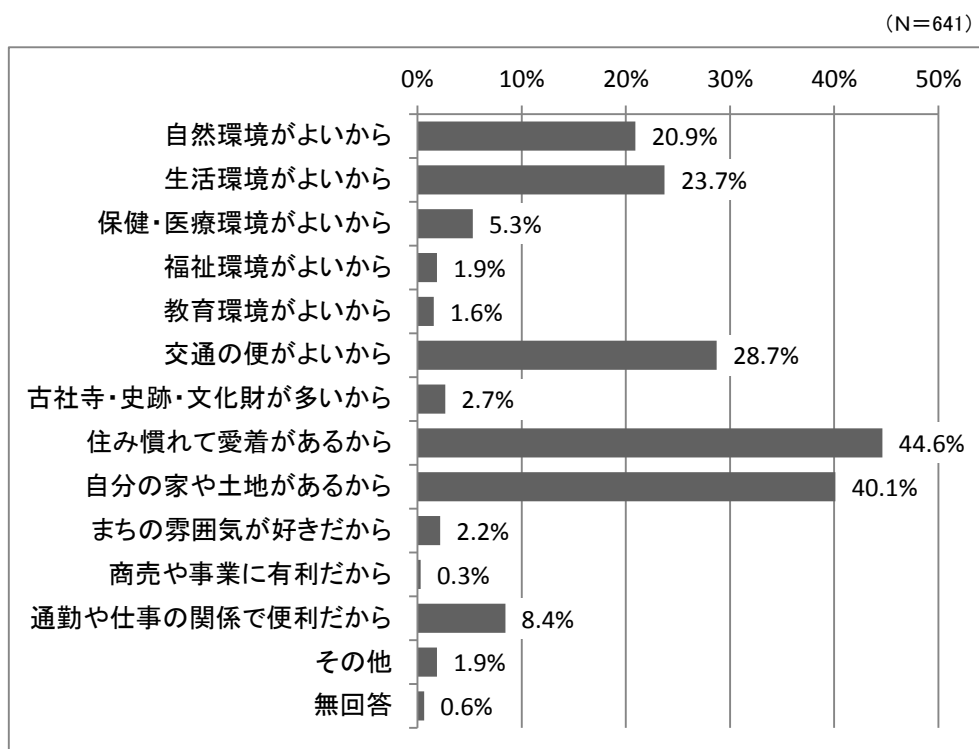
(N=905)



### 回答者の7割超が住みごちがよいと回答

- ・田原本町の住みごちについては、「まあ暮らしやすい」が43.8%、「暮らしやすい」が24.3%、「非常に暮らしやすい」が2.8%となっており、回答者の7割超が田原本町は住みごちがよいと回答している。
- ・一方、「やや暮らしにくい」が10.5%、「暮らしにくい」が4.0%、「非常に暮らしにくい」が1.9%となっており、回答者の1割超が田原本町は住みごちがよくないと回答している。

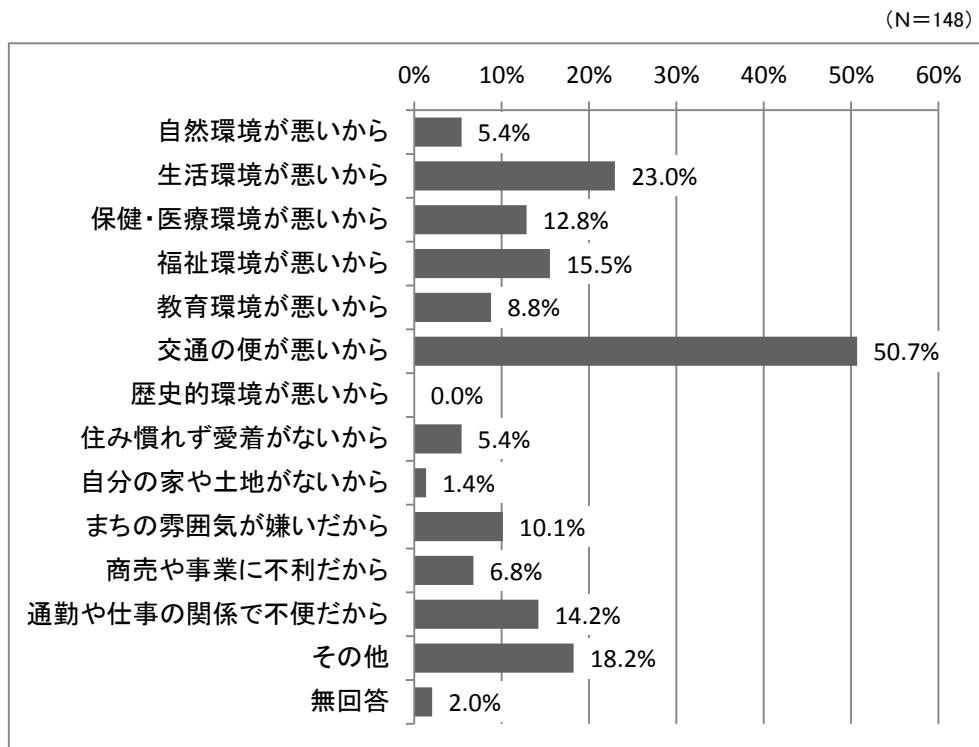
問7 問6で「1～3」とお答えの方におたずねします。その理由は何ですか。2つまで選んでください。



#### 住みごちがよい理由は愛着があるから

・住みごちがよい理由については、「住み慣れて愛着があるから」が44.6%と最も多く、次いで「自分の家や土地があるから」が40.1%、「交通の便がよいから」が28.7%と続いている。

問8 問6で「5～7」とお答えの方におたずねします。その理由は何ですか。2つまで選んでください。

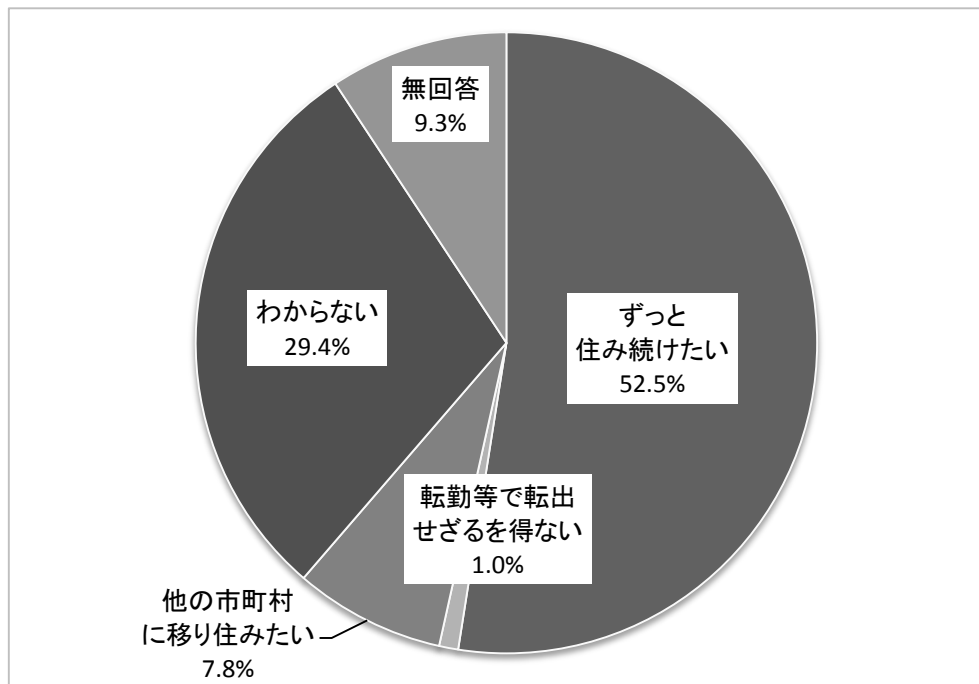


#### 住みごちがよくない理由は交通の便が悪いから

- ・住みごちがよくない理由については、「交通の便が悪いから」が50.7%と最も多く、次いで「生活環境が悪いから」が23.0%、「福祉環境が悪いから」が15.5%と続いている。

問9 あなたは、今後も田原本町に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んでください。

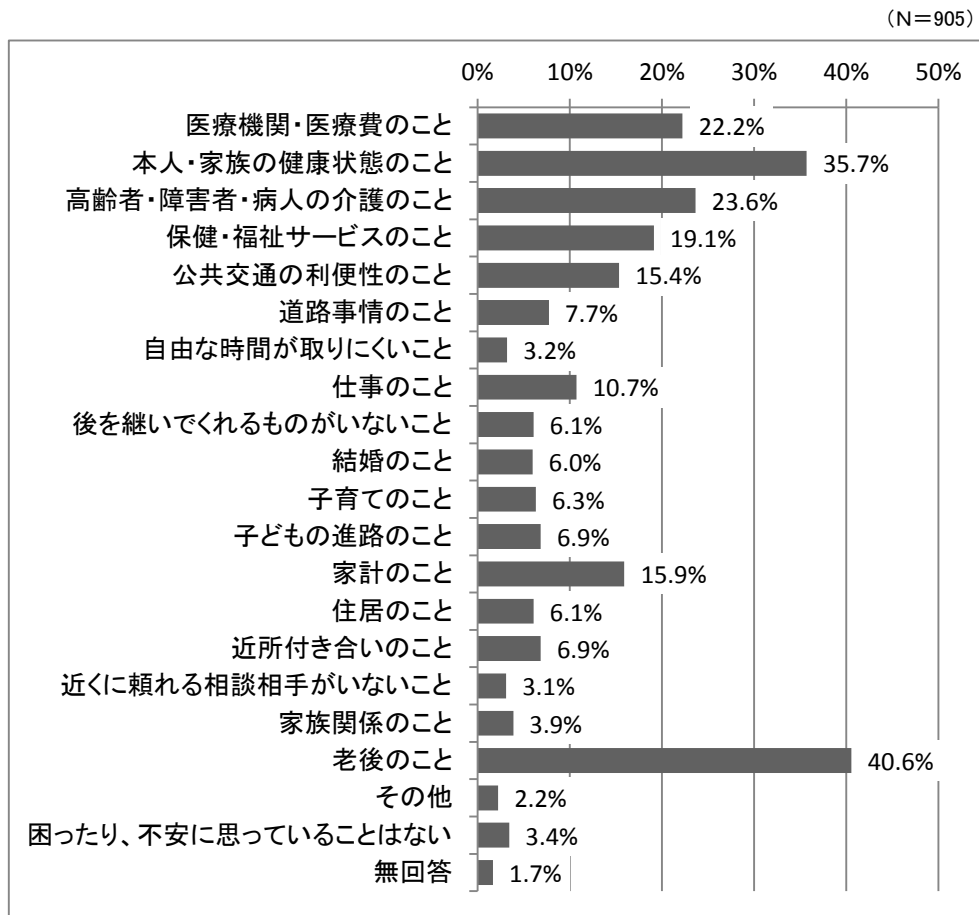
(N=905)



#### **回答者の約5割が田原本町に住み続ける意向**

- ・今後の居留意向については、「ずっと住み続けたい」が52.5%となっており、回答者の約5割が田原本町に住み続けたいと思っている。
- ・一方、「他の市町村に移り住みたい」が7.8%、「転出せざるを得ない」が1.0%となっており、回答者の約1割が田原本町から転出する意向を持っている。
- ・また、「わからない」が29.4%となっている。

問 10 あなたが日常生活の中で困ったり、不安に思ったりしていることは何ですか。3つまで選んでください。

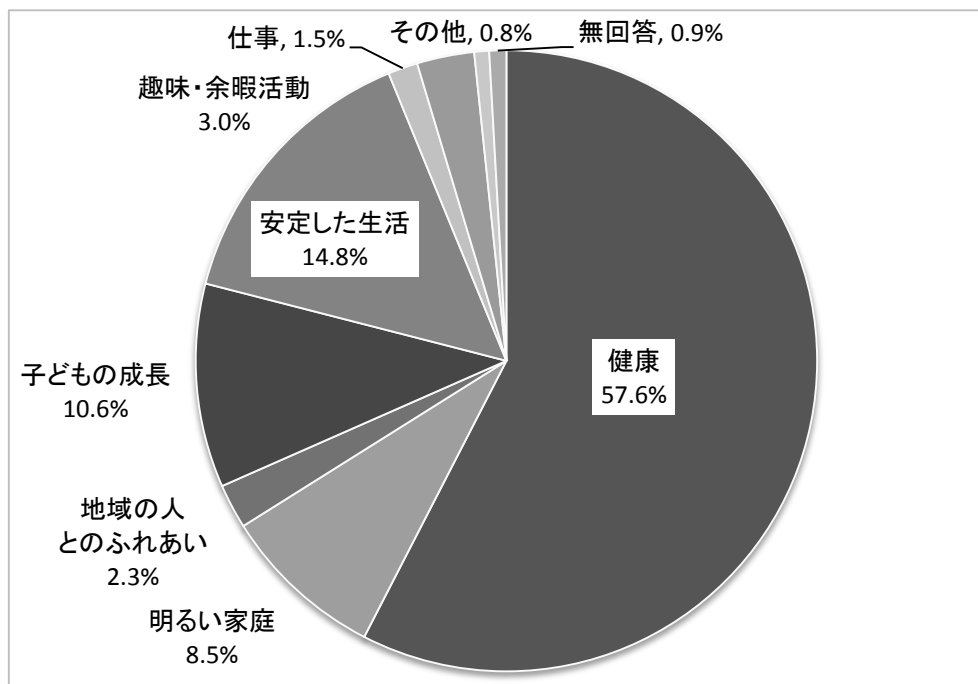


**日常生活で困っていること・不安に思っていることは老後、本人・家族の健康状態のこと**

・日常生活で困っていること・不安に持っていることについては、「老後のこと」が40.6%と最も多く、次いで「本人・家族の健康状態のこと」が35.7%、「高齢者・障害者・病人の介護のこと」が23.6%、「医療機関・医療費のこと」が22.2%、「保健・福祉サービスのこと」が19.1%と続いている。

問 11 あなたにとって、いま一番大切に思うことは何ですか。1つだけ選んでください。

(N=905)



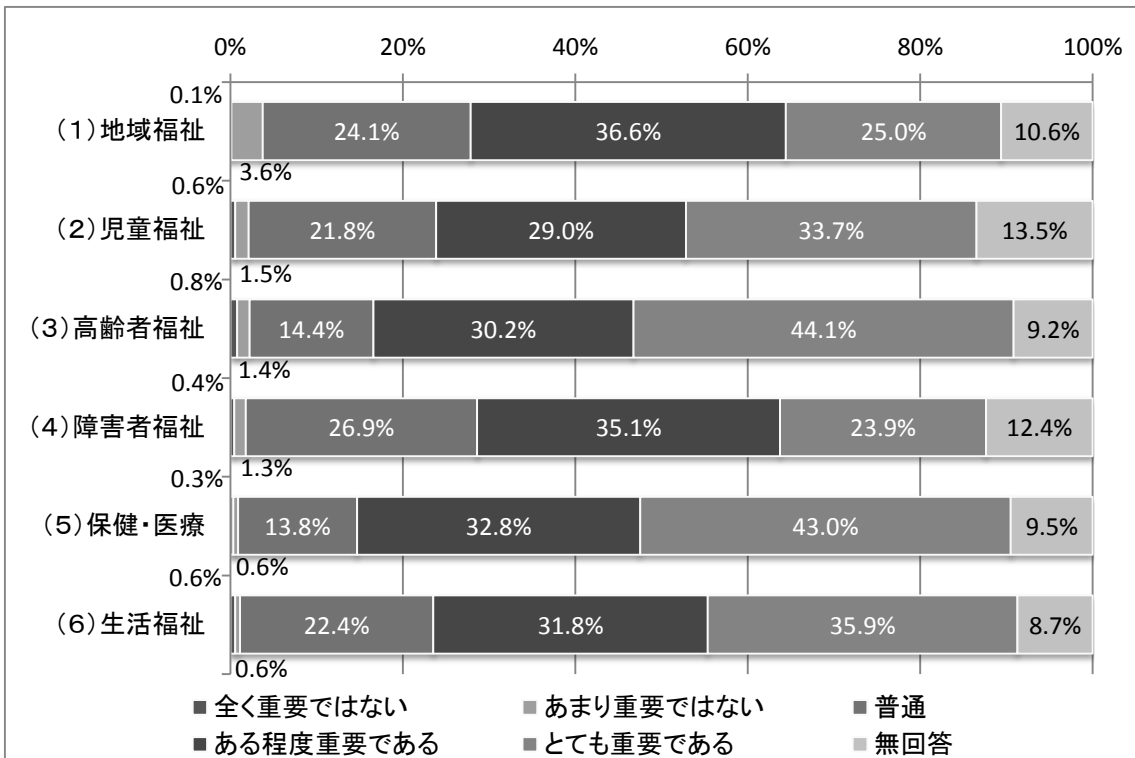
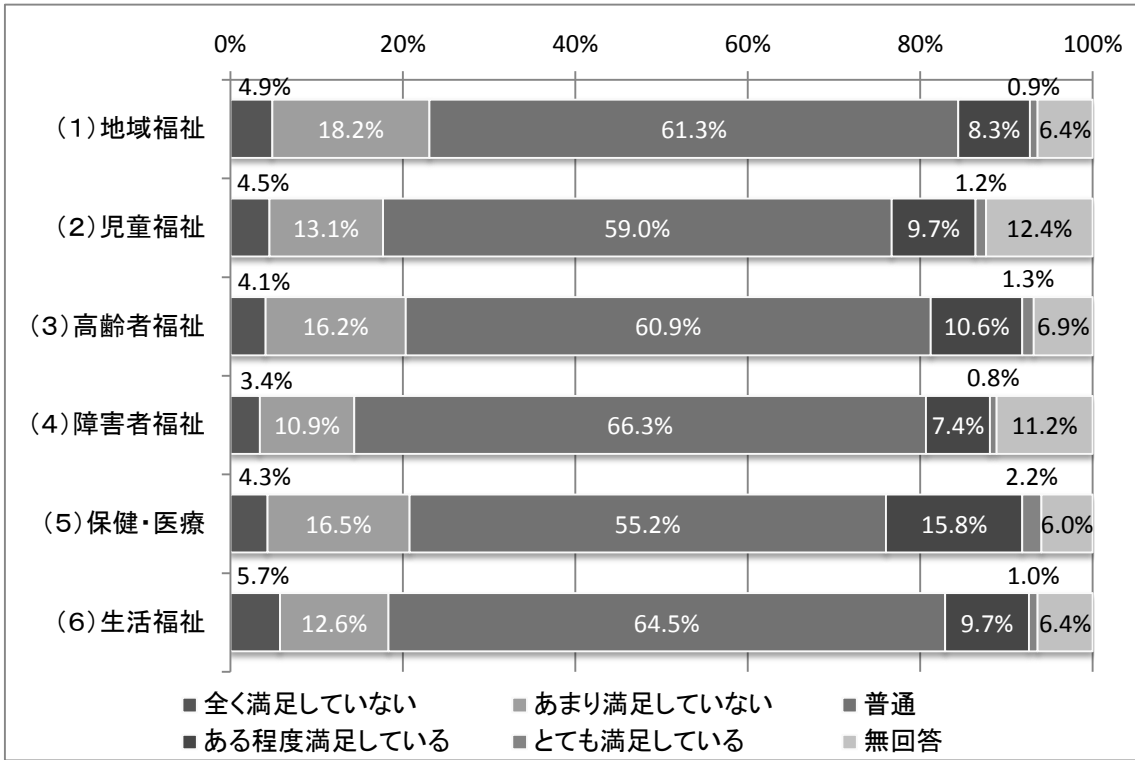
#### いま一番大切に思うことは健康

- ・いま一番大切に思うことについては、「健康」が 40.6%、「安定した生活」が 14.8%、「子どもの成長」が 10.6%となっている。

【3. 田原本町第3次総合計画の満足度、充実度】

問12 田原本町では、第3次総合計画において、6つの基本施策に基づき、様々な取組を行ってきました。それらの取組の内容について、どの程度満足されていますか。また、今後どの程度力を入れていくべきだと思いますか。それぞれについて、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

基本施策1 共に幸せを感じられるまちづくり（上：満足度、下：重要度） (N=905)

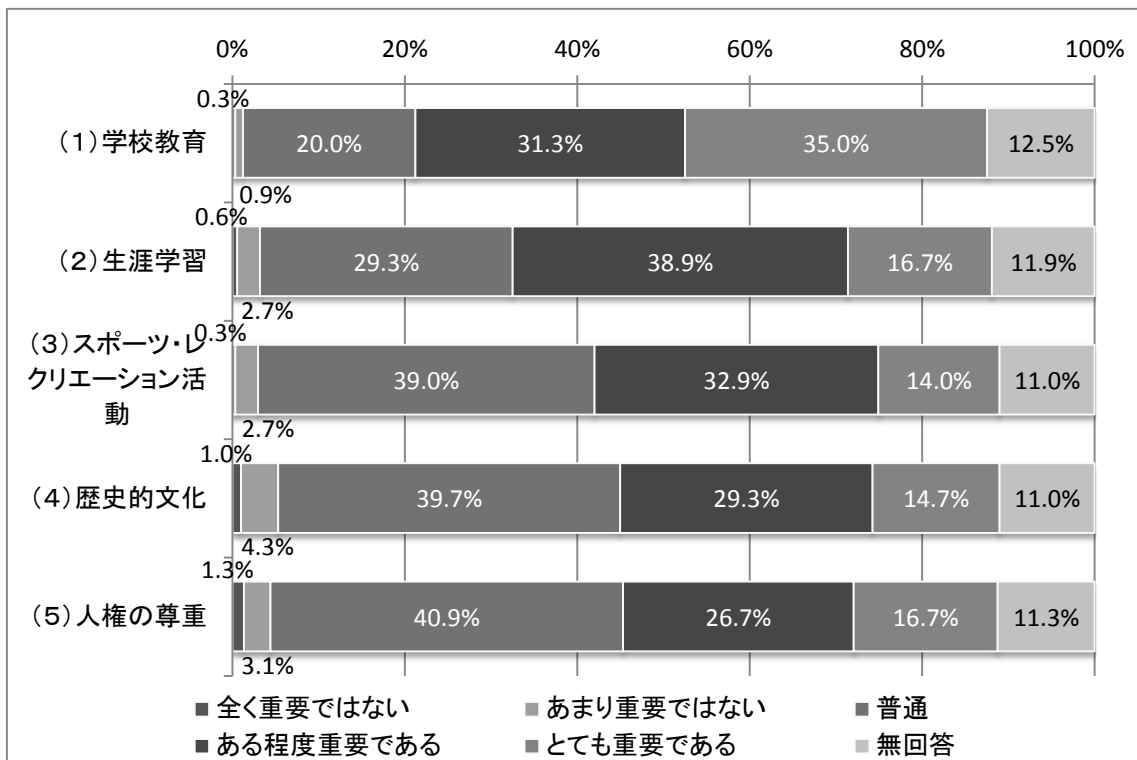
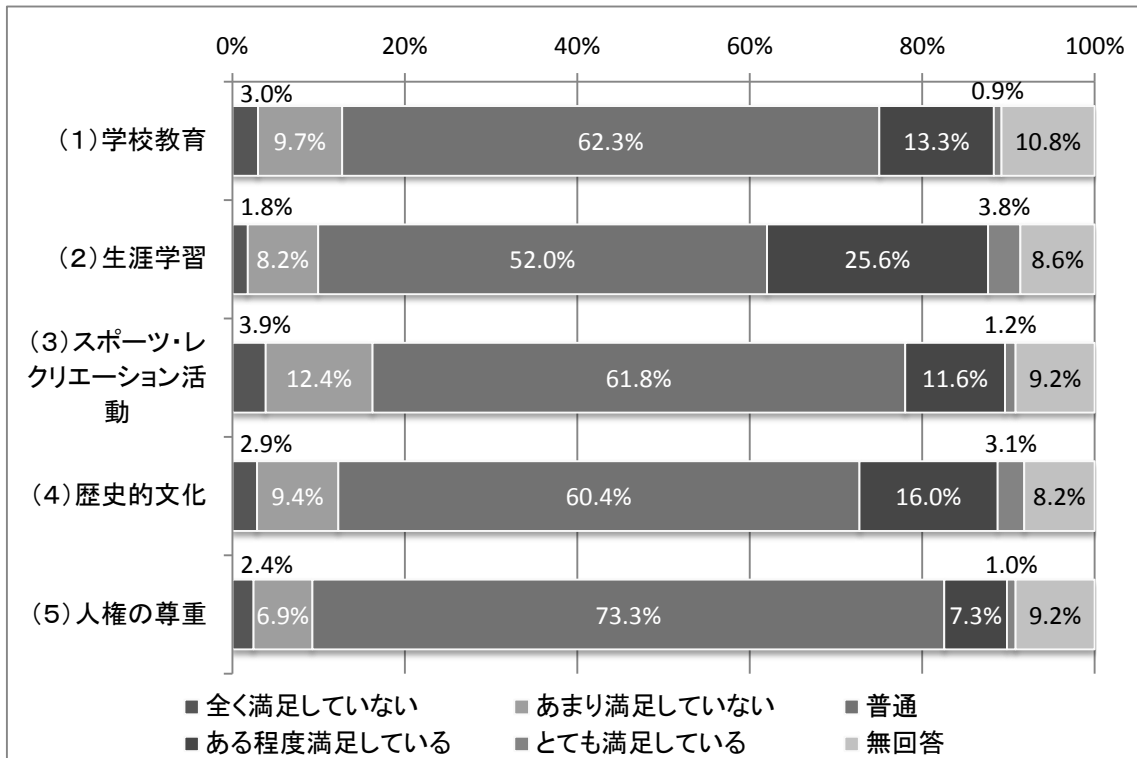




### **共に幸せを感じられるまちづくりとして望まれているのは保健・医療、高齢者福祉**

- ・「基本施策1 共に幸せを感じられるまちづくり」については、「保健・医療」で満足と感じている人が18.0%と一定の評価が得られているが、一方で、「地域福祉」に対して、2割以上の人が不満を持っている。
- ・また、重要だと感じる取組については、「保健・医療」が75.8%、「高齢者福祉」が74.3%で、保健・医療、高齢者福祉に関する取組みを望む声が多くなっている。

基本施策2 人が生きいきと輝くまなびのまちづくり（上：満足度、下：重要度）（N=905）

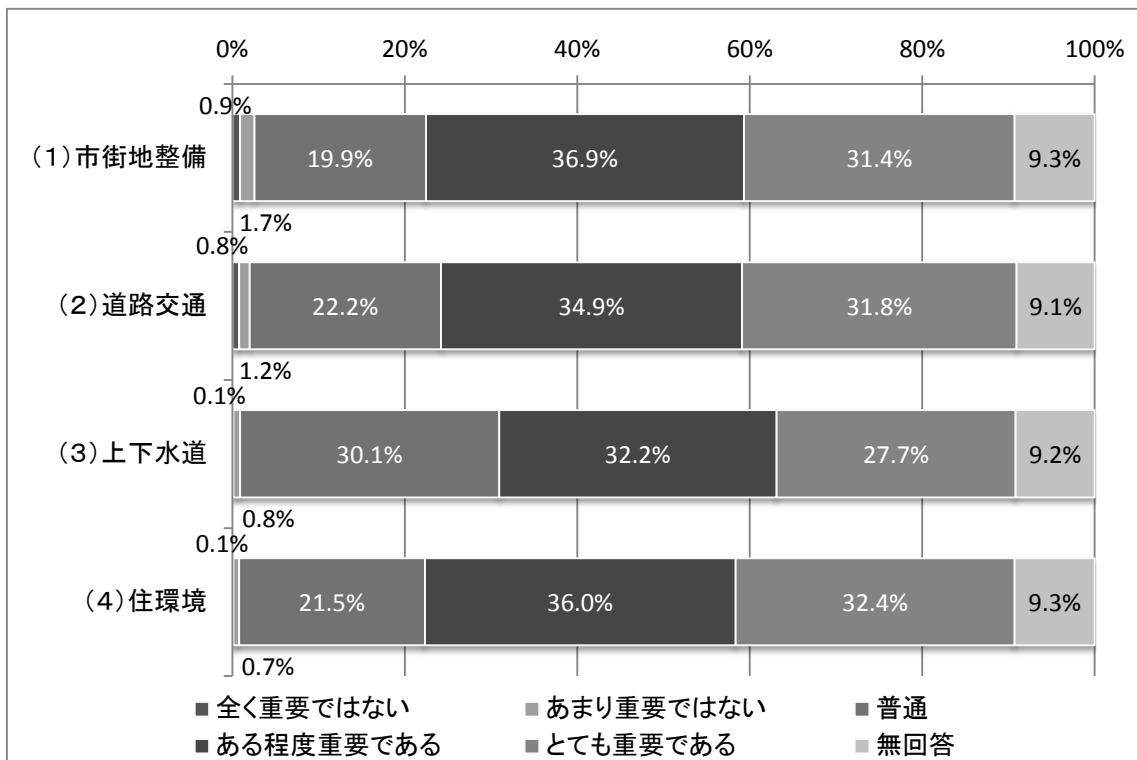
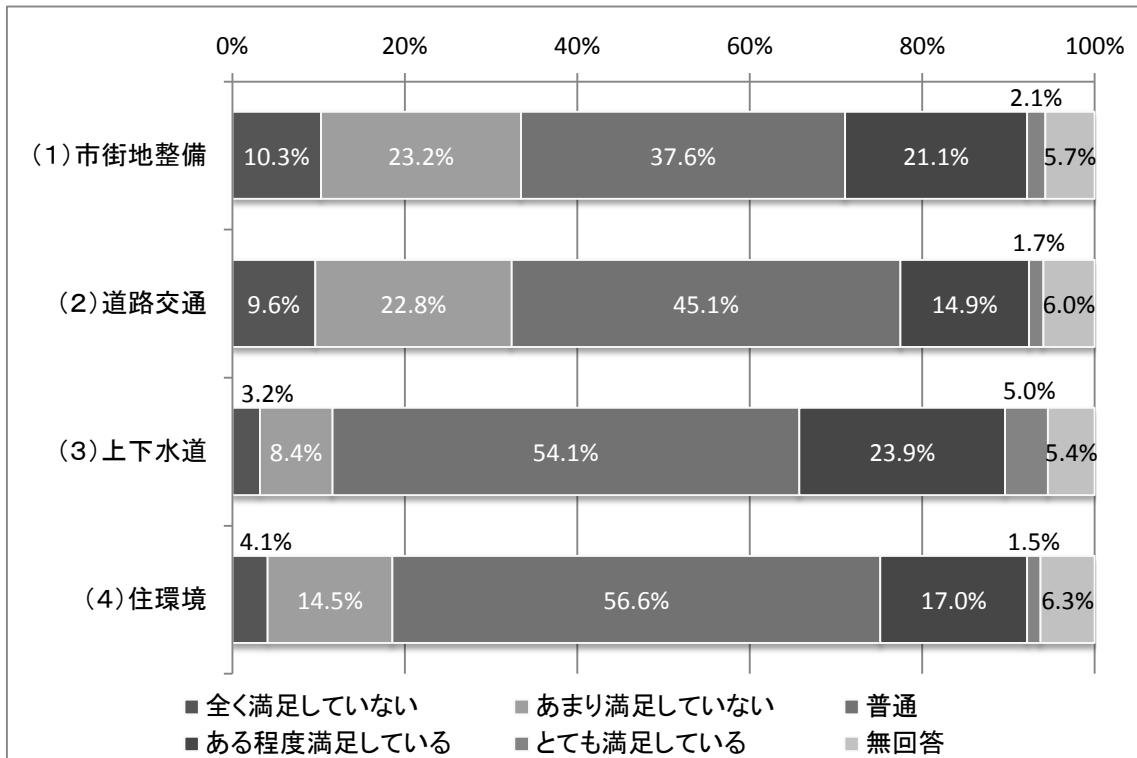


**人が生きいきと輝くまなびのまちづくりとして望まれているのは学校教育、生涯学習**

- ・「基本施策2 人が生きいきと輝くまなびのまちづくり」については、「生涯学習」で満足と感じている人が29.4%と一定の評価が得られているが、一方で、「スポーツ・レクリエーション活動」に対して、2割弱の人が不満を持っている。
- ・また、重要だと感じる取組については、「学校教育」が66.3%、「生涯学習」が55.6%で、学校教育、生涯学習に関する取組みを望む声が多くなっている。

基本施策3 都市基盤が充実したまちづくり（上：満足度、下：重要度）

(N=905)

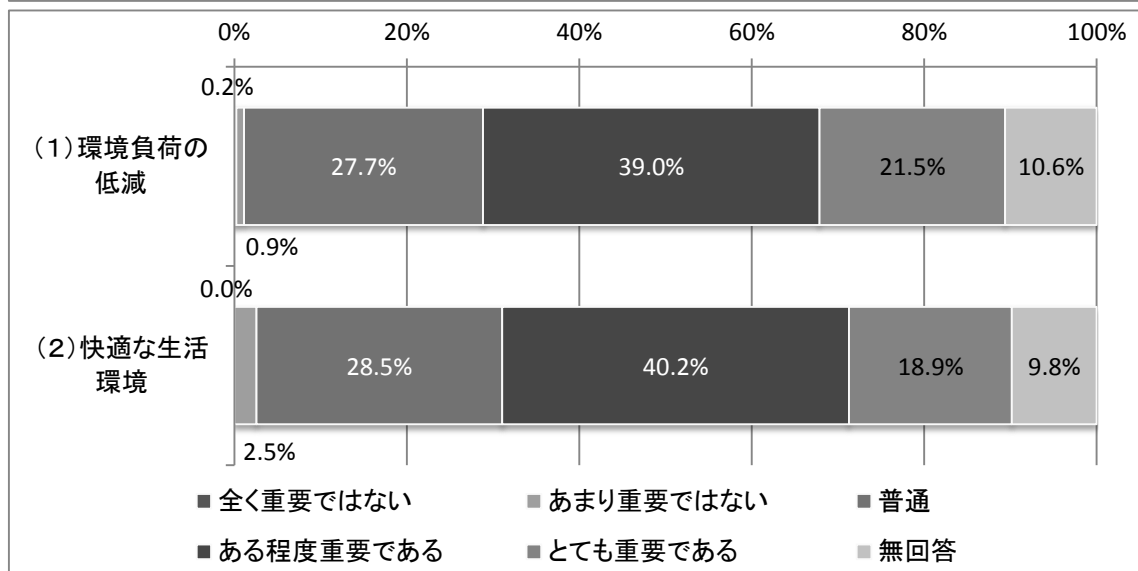
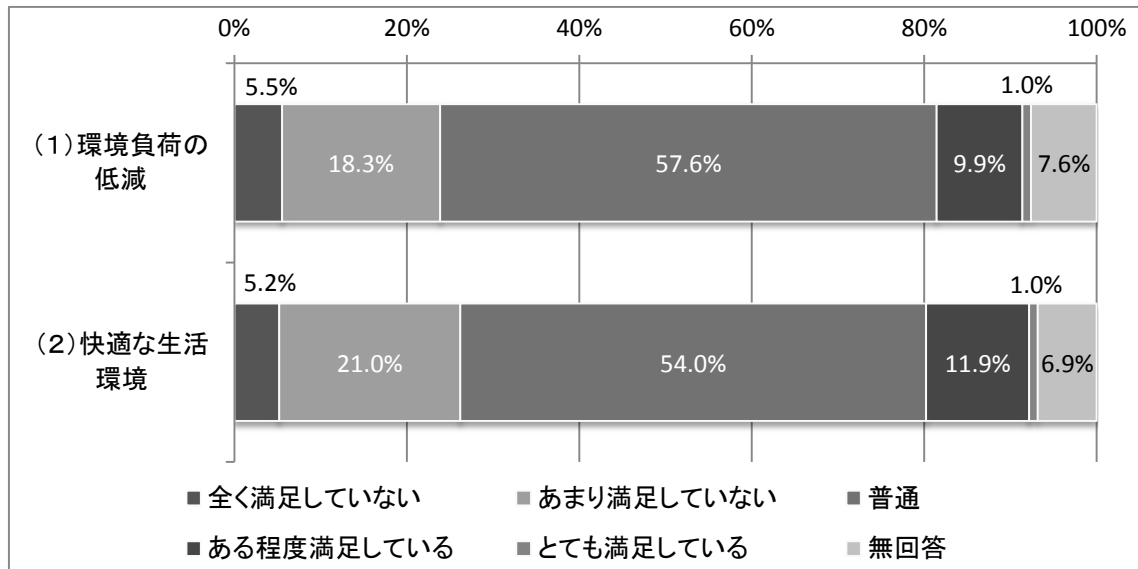


**都市基盤が充実したまちづくりとして望まれているのは住環境、市街地整備**

- ・「基本施策3 都市基盤が充実したまちづくり」については、「上下水道」で満足と感じている人が28.8%と一定の評価が得られているが、一方で、「市街地整備」に対して、3割以上の人々が不満を持っている。
- ・また、重要だと感じる取組については、「住環境」が68.4%、「市街地整備」が68.3%で、住環境、市街地整備に関する取組みを望む声が多くなっている。

基本施策4 快適に生活できるまちづくり（上：満足度、下：重要度）

(N=905)

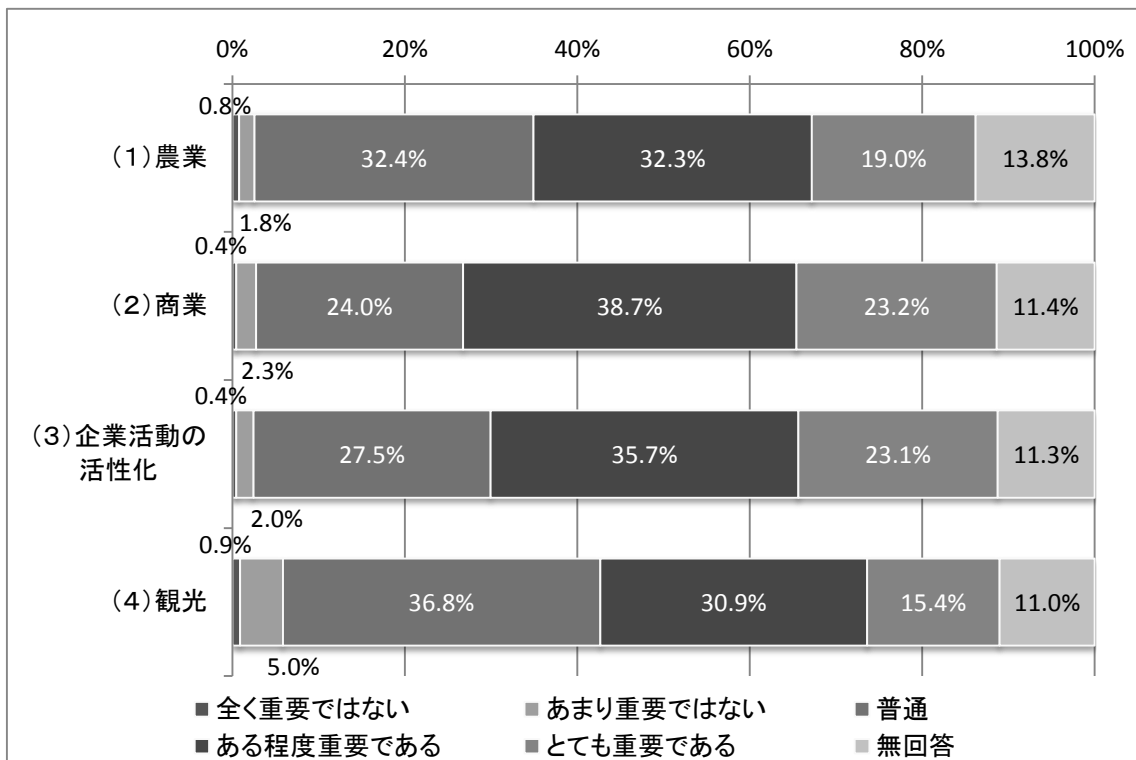
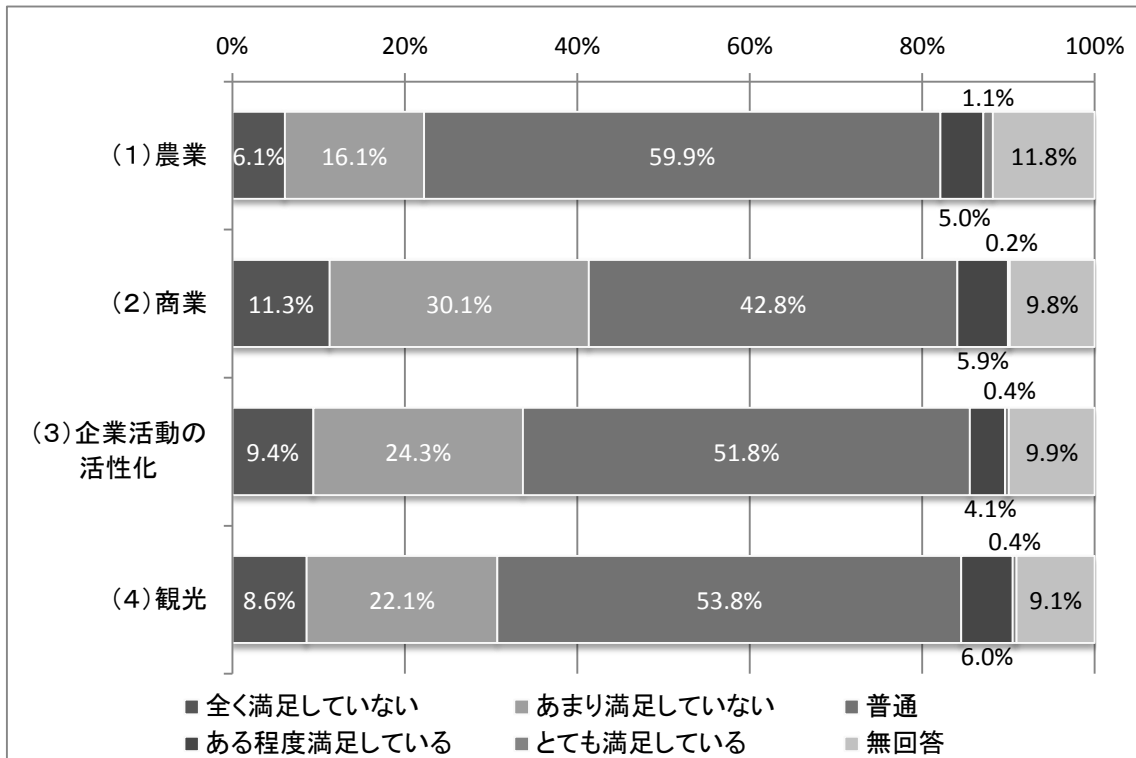


**快適に生活できるまちづくりとして望まれているのは環境負荷の低減、快適な生活環境**

- ・「基本施策4 快適に生活できるまちづくり」については、「環境負荷の低減」「快適な生活環境」に対して、それぞれ2割超の人が不満と感じている。
- ・また、重要だと感じる取組については、「環境負荷の低減」が60.6%、「快適な生活環境」が59.1%と、約6割の人が重要と感じており、環境負荷の低減、快適な生活環境に関する取組みを望む声が多くなっている。

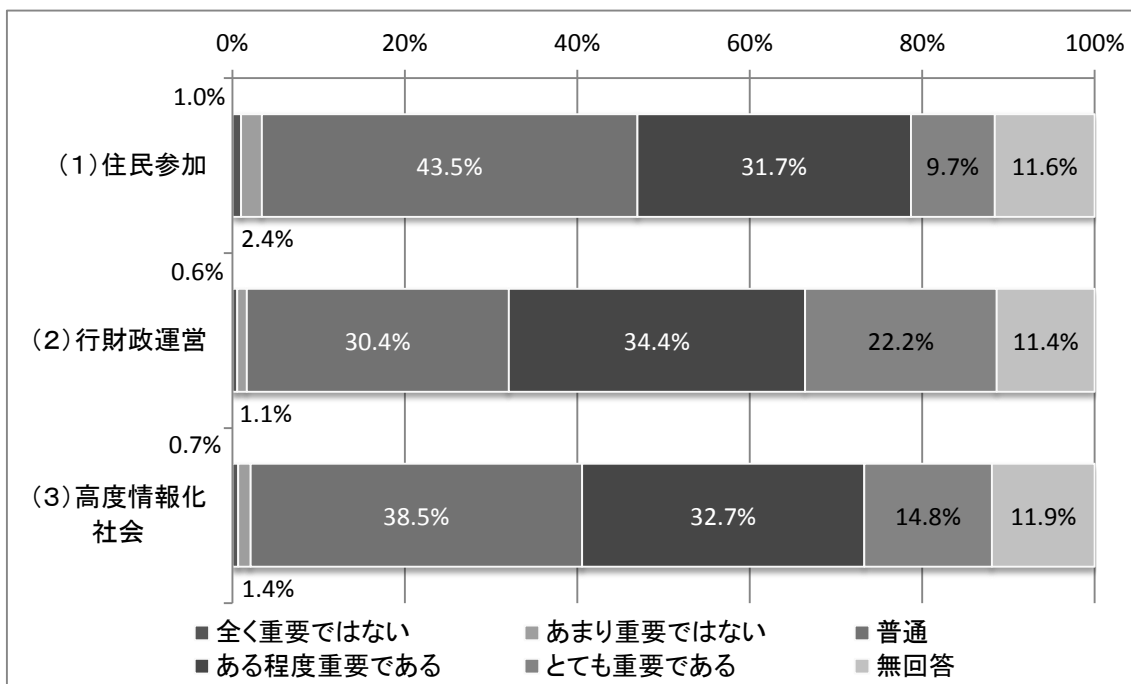
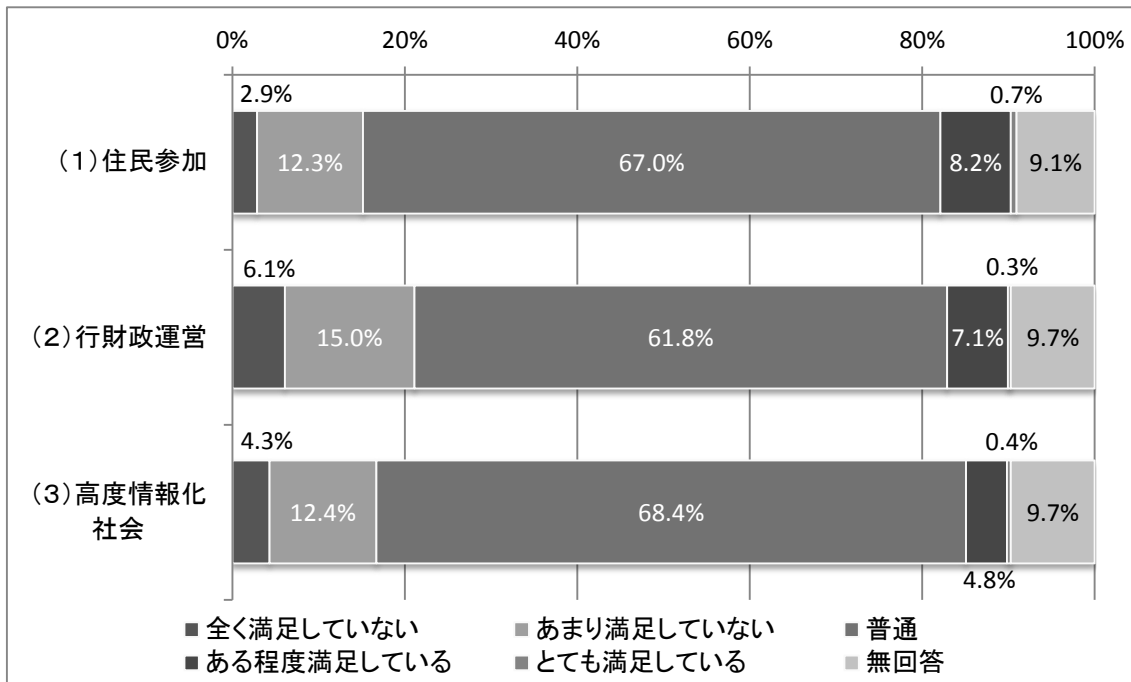
基本施策5 活力湧き出る産業振興のまちづくり（上：満足度、下：重要度）

(N=905)



**活力湧き出る産業振興のまちづくりとして望まれているのは商業、企業活動の活性化**

- ・「基本施策5 活力湧き出る産業振興のまちづくり」については、「商業」に対して、不満と感じている人が41.3%で、最も不満の割合が高くなっている。
- ・また、重要だと感じる取組については、「商業」が61.9%、「企業活動の活性化」が58.8%で、商業、企業活動の活性化に関する取組を望む声が多くなっている。

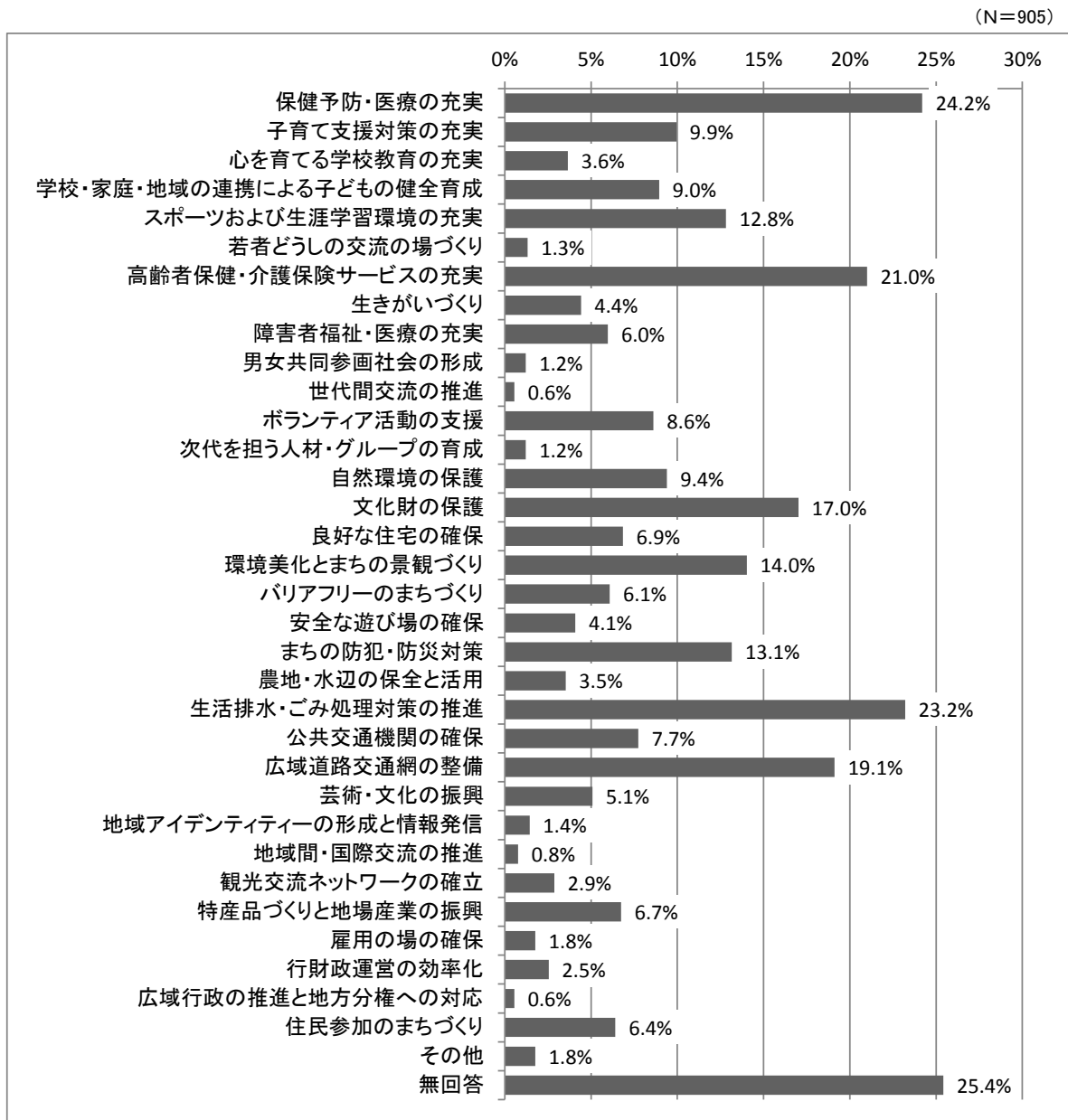


**効率的な計画推進をめざしたまちづくりとして望まれているのは行財政運営**

- ・「基本施策6 効率的な計画推進をめざしたまちづくり」については、「行財政運営」に対して、不満と感じている人が21.1%で、最も不満の割合が高くなっている。
- ・また、重要だと感じる取組については、「行財政運営」が56.6%で、行財政運営に関する取組みを望む声が多くなっている。

#### 【4. 田原本町のまちづくりについて】

問 13 この10年間で、特によくなったと思われるまちづくりの施策として、下の1～34の中から5つまで選んでください。

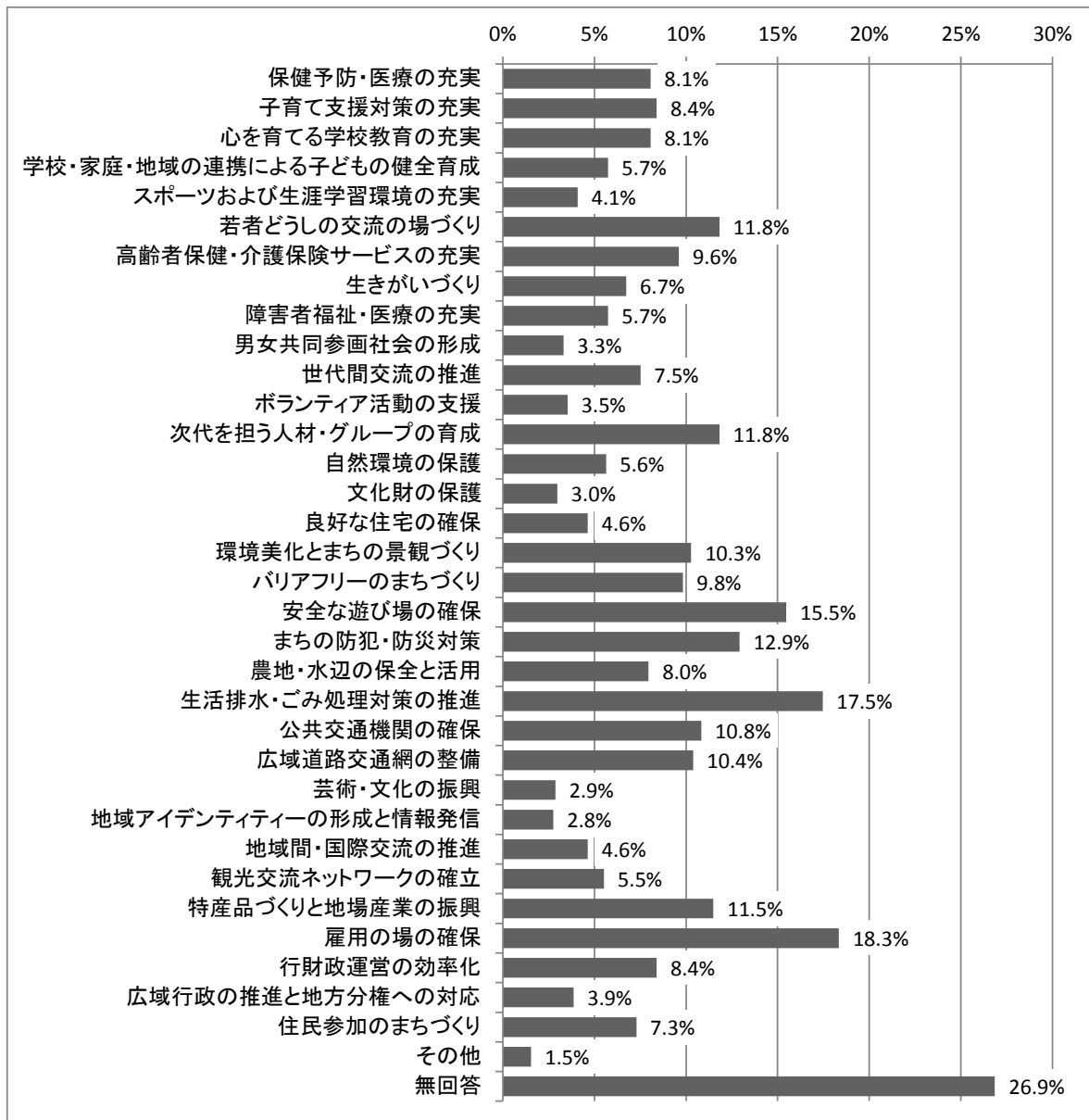


#### **特によくなったと思われるまちづくりの施策は保健予防・医療の充実**

- ・特によくなったと思われるまちづくりの施策については、「保健予防・医療の充実」が24.2%と最も多く、次いで「生活排水・ごみ処理対策の推進」が23.2%、「高齢者保健・介護保険サービスの充実」が21.0%、「広域道路交通網の整備」が19.1%、「文化財の保護」が17.0%と続いている。
- ・また、「無回答」が25.4%となっている。

問 14 この 10 年間で、特によくなかったと思われるまちづくりの施策として、下の 1～34 の中から 5 つまで選んでください。

(N=905)

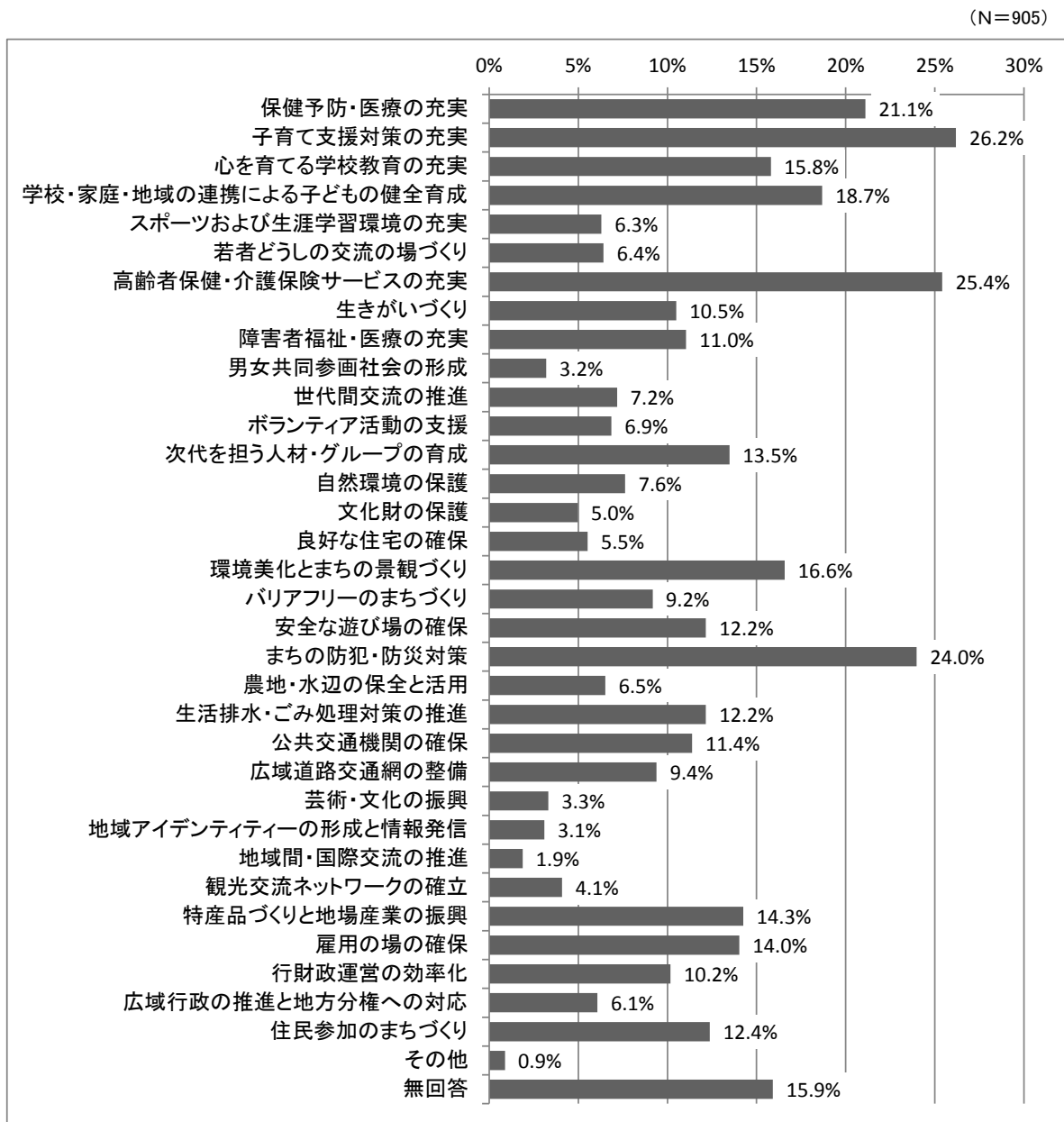


### 特によくなかったと思われるまちづくりの施策は雇用の場の確保

- ・特によくなかったと思われるまちづくりの施策については、「雇用の場の確保」が 18.3%と最も多く、次いで「生活排水・ごみ処理対策の推進」が 17.5%、「安全な遊び場の確保」が 15.5%、「まちの防犯・防災対策」が 12.9%、「若者どうしの交流の場づくり」「次世代を担う人材・グループの育成」が 11.8%と続いている。
- ・また、「無回答」が 26.9%となっている。



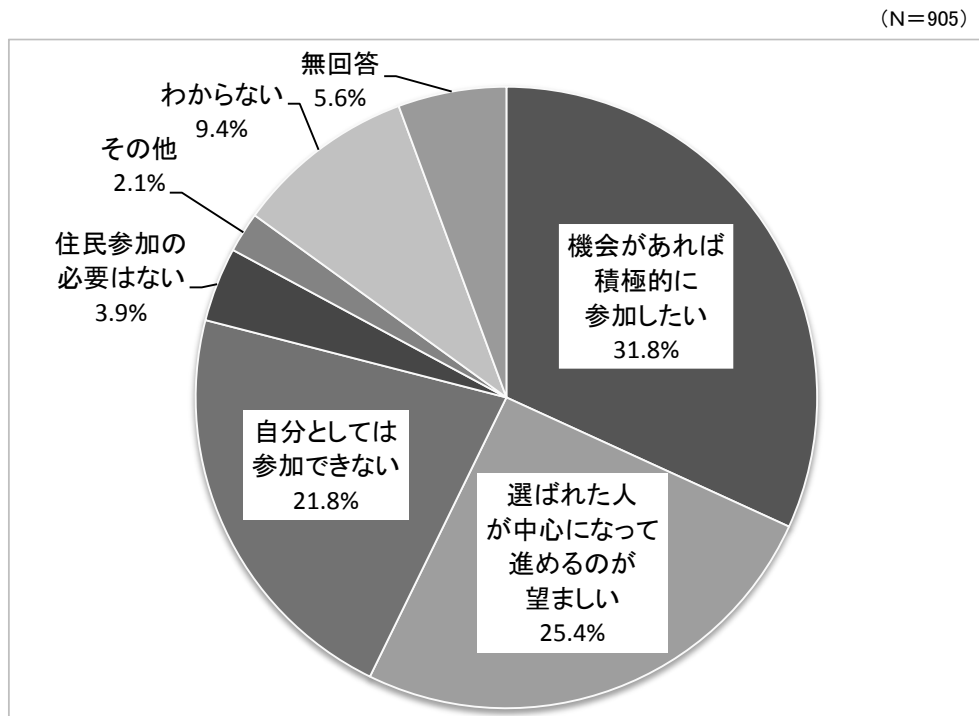
問 15 今後、行政と地域が一緒になって担うべきだと思われるまちづくり施策を、下の1～34の中から5つまで選んでください。



**今後、行政と地域が一緒になって担うべきだと思われるまちづくり施策は子育て支援対策の充実**

・今後、行政と地域が一緒になって担うべきだと思われるまちづくり施策については、「子育て支援対策の充実」が26.2%と最も多く、次いで「高齢者保健・介護保険サービスの充実」が25.4%、「まちの防犯・防災対策」が24.0%、「保健予防・医療の充実」が21.1%、「地域の連携による子どもの健全育成」が18.7%と続いている。

問 16 地方分権時代の到来により、うるおいある豊かな地域社会を築いていくためには、町民がまちづくりに積極的に参加していくことがますます重要になっています。今後、あなた自身がまちづくりに参加することについてどのようにお考えですか。1つだけ選んでください。

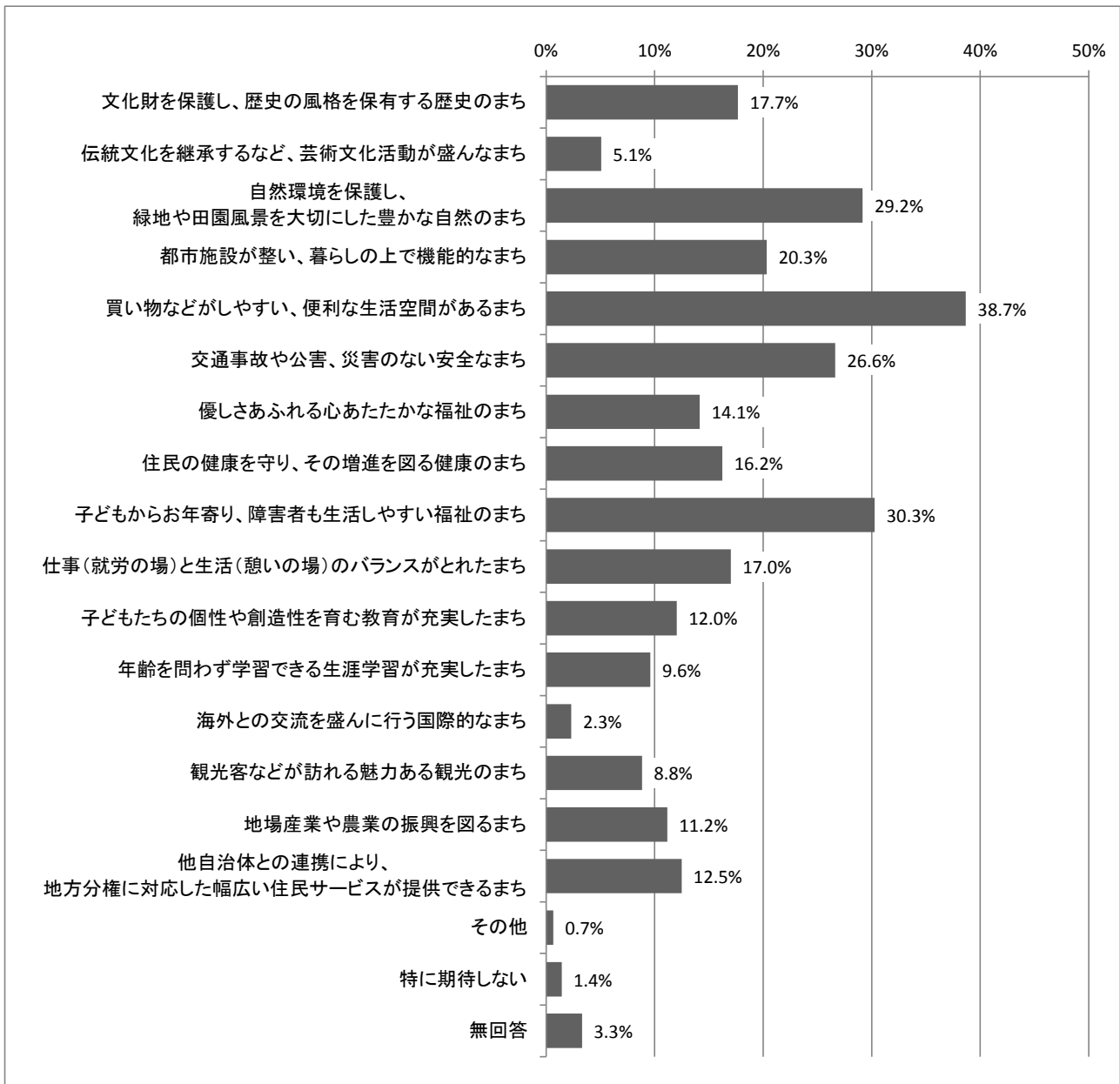


**機会があれば積極的にまちづくりに参加したい回答者は約3割**

・まちづくりへの参加については、「機会があれば積極的に参加したい」が31.8%、「選ばれた人が中心になって進めるのが望ましい」が25.4%、「自分としては参加できない」が21.8%、「住民参加の必要はない」が3.9%となっている。

問 17 あなたは、田原本町が将来どのようなまちになることを期待しますか。3つまで選んでください。

(N=905)

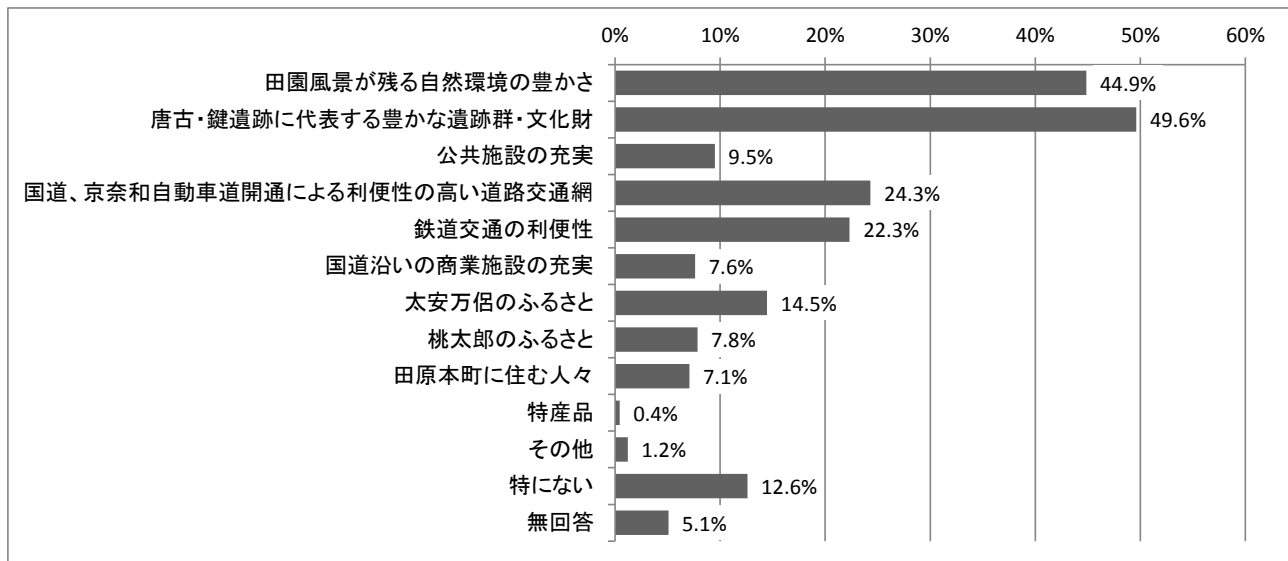


**将来の田原本町として望まれているのは便利な生活空間があるまち**

- ・ 将来の田原本町については、「買い物などがしやすい、便利な生活空間があるまち」が38.7%と最も多く、次いで「子どもからお年寄り、障害者も生活しやすい福祉のまち」が30.3%、「自然環境を保護し、緑地や田園風景を大切にしたい豊かな自然のまち」が29.2%、「交通事故や公害、災害のない安全なまち」が26.6%、「都市施設が整い、暮らしの上で機能的なまち」が20.3%と続いている。

問 18 まちが誇れるもの、あるいは魅力に何がありますか。3つまで選んでください。

(N=905)

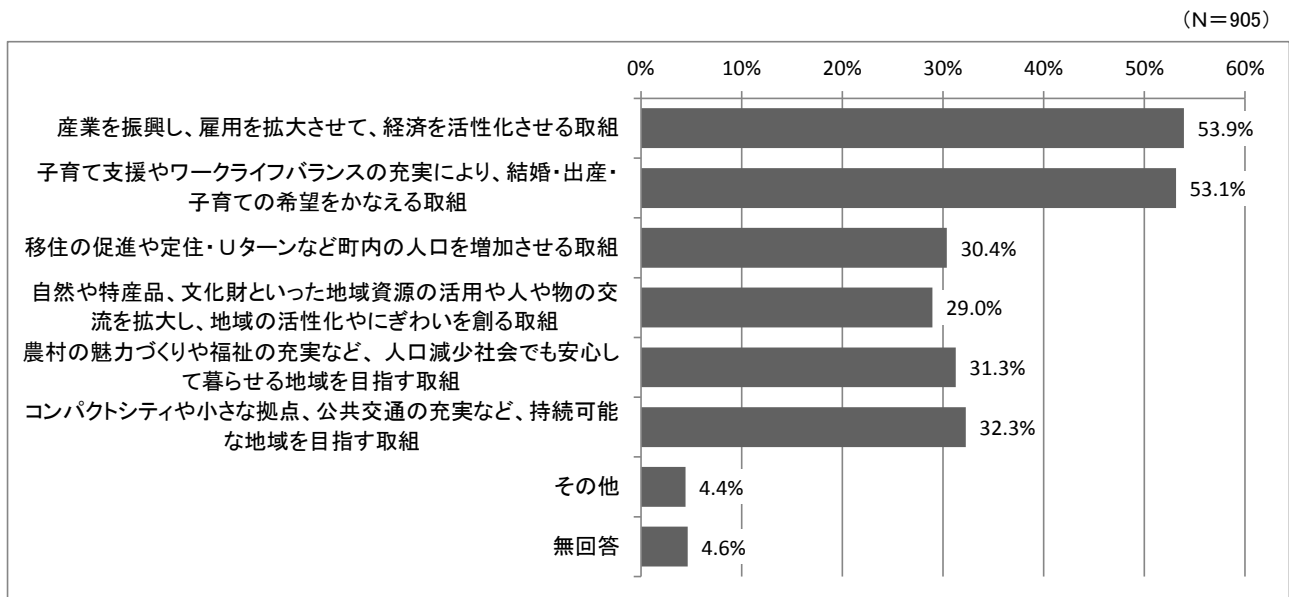


**まちが誇れるもの、魅力は唐古・鍵遺跡に代表する豊かな遺跡群・文化財**

・まちが誇れるもの、魅力については、「唐古・鍵遺跡に代表する豊かな遺跡群・文化財」が49.6%と最も多く、次いで「田園風景が残る自然環境の豊かさ」が44.9%、「国道、京奈和自動車道開通による利便性の高い道路交通網」が24.3%と続いている。

【5. 定住促進や子育て支援による人口減少抑制策について】

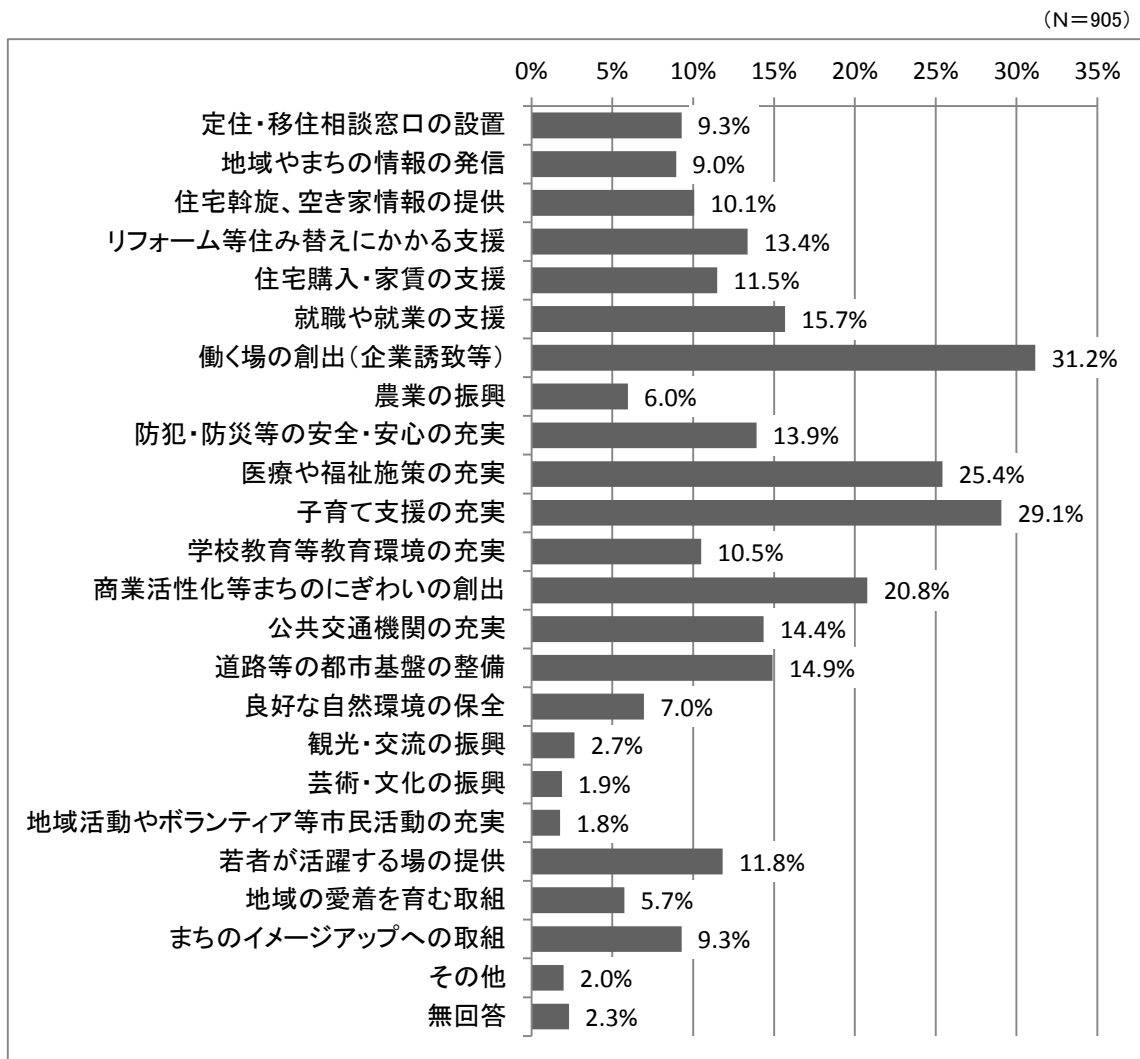
問 19 人口減少を克服し活力ある社会を目指して、行政が取り組むべきことは何だと思いますか。  
3つまで選んでください。



**人口減少のために行政が取り組むべきことは経済を活性化させる取組**

・人口減少のために行政が取り組むべきことについては、「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」が 53.9%と最も多く、次いで「子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が 53.1%、「コンパクトシティや小さな拠点、公共交通の充実など、持続可能な地域を目指す取組」が 32.3%と続いている。

問 20 定住・移住してもらうために田原本町が行えばよいと思う取組は何ですか。3つまで選んでください。

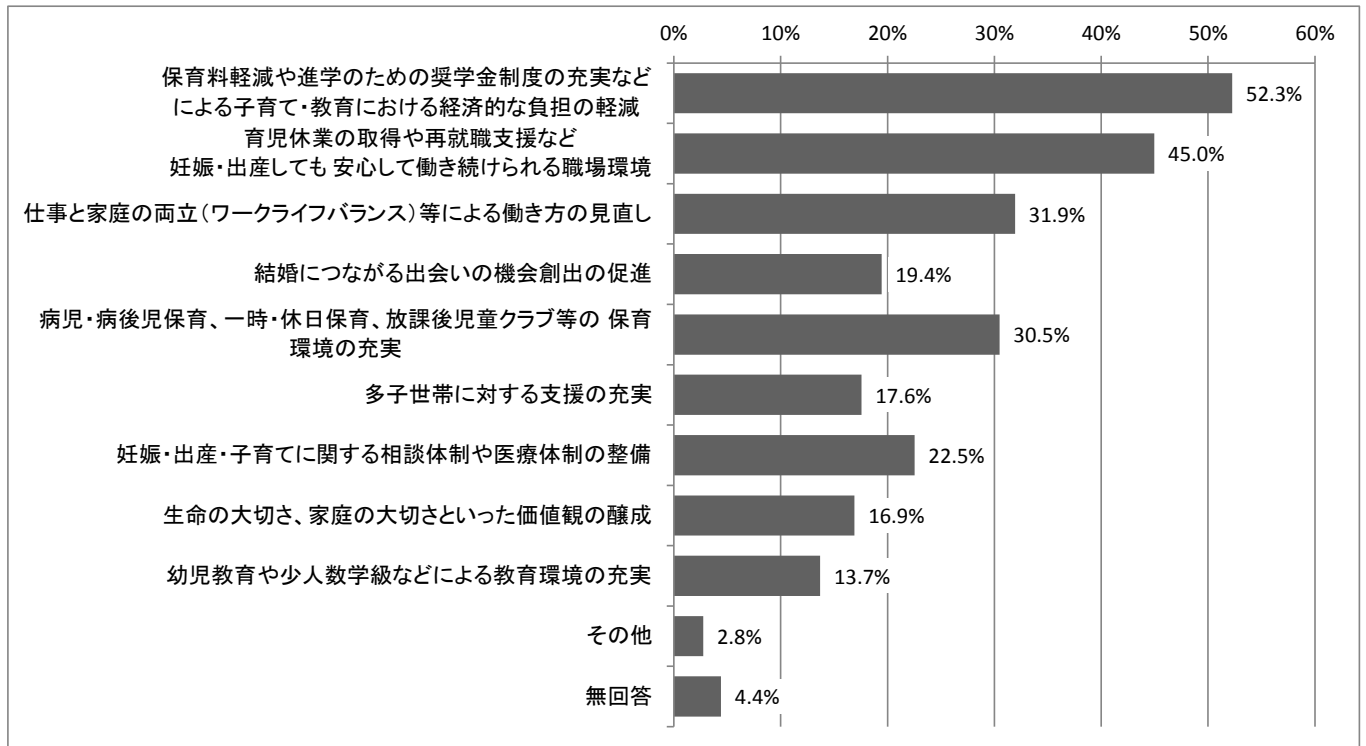


**定住・移住促進のために行政が取り組むべきことは働く場の創出**

- ・定住・移住促進のために行政が取り組むべきことについては、「働く場の創出（企業誘致等）」が31.2%と最も多く、次いで「子育て支援の充実」が29.1%、「医療や福祉施策の充実」が25.4%、「商業活性化等まちのにぎわいの創出」が20.8%、「就職や就業の支援」が15.7%と続いている。

問 21 これから少子化に歯止めをかけるため、こういった取組に力を入れるべきだと考えますか。  
3つまで選んでください。

(N=905)



**少子化抑制のために行政が取り組むべきことは子育て・教育における経済的な負担の軽減**

- ・少子化抑制のために行政が取り組むべきことについては、「保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減」が 52.3%と最も多く、次いで「育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境」が 45.0%、「仕事と家庭の両立(ワークライフバランス)等による働き方の見直し」が 31.9%と続いている。

問 22 その他、まちづくりについてご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

### 基本施策1 共に幸せを感じられるまちづくり

#### (1) 地域福祉

公民館などを使った地域サロン、相談窓口設置などを望む。
高齢者、障害者を対象にしたボランティア活動において町の施設を利用する場合、使用料を支払っていると聞く。使用目的の内容を見て有料、無料の判断が必要ではないか。

#### (2) 児童福祉

新規に保育園を増設するより、町立の幼稚園が保育業務を併設する方針に転換してほしい。
子ども園（幼稚園）をつくってほしい。
幼稚園の建物の中に保育所も入れたらどうか。
保育園は幼稚園や小学校と比較して不便な立地にあるので、通園バスを望む。
待機児童対策、兄弟姉妹で別々の保育園へ預ける必要のないよう対策をお願いしたい。
保育園に子どもを預けたくても定員の関係で預けにくい現状がある。
希望者が全員保育園に入れる様にしてもらいたい。
学童の確保、学童等で体を動かす機会を充実させてほしい。
子供の遊ぶ施設が少ない。
児童館や公園など子どもの遊び場の拡充を早急に実現してほしい。
子育てを終えた世代が子育てに協力できる場があればよいと思う。
子供たちの住みよい町にしてほしい。
出産・子育て支援が最も大切である。
田原本町の未来を担う人材を育てるために、子育て支援教育にもっと力を入れるべき。
町独自の子育てに対する思い切った投資を望む。また、一つの施策が決定したら早く実施し、完成させてほしい。
子育て支援を前面にアピールし、他地域からの移住を促進する。
保育園や公園の増加、近隣に子育て関連施設を設立するなど、子育てがしやすい環境が田原本町を活性化させる。
子育てしながら働きやすい環境づくりと安心して定住できる制度があり、田原本町の特権としてアピールできればよい。
子供を3人、4人と生み育てることが容易な環境を創り出すことが必要である。
少子化問題について、女性がどんな事で悩んでいるか話を聞いてみるべきである。行政と住民が寄り添い意見を出し合える様にならないといけない。

#### (3) 高齢者福祉

特養の入所は順番待ち多数で困難と聞いている。一日も早く入所できるようお願いしたい。
田原本町において宿泊出来る福祉施設、特に要介護が必要な者が家族に気がねなく宿泊出来る施設を増やしてほしい。
介護施設のさらなる充実・発展を希望する。



今の老人福祉センター及びふれあいセンターの入浴料無料を一人100円徴収に変更すべき。
空き家を利用して地域ごとに老人が集まることのできる憩いの場を確保してほしい。
介護サービスを充実してほしい。
高齢者の見守りや、買い物難民を助けるボランティアや福祉事業の充実を望む。
買い物支援、ゴミ出し支援を望む。
老夫婦、特に1人暮らしの見守り、身体障害者の病院への付き添いサービスを希望する。
老人が安心して押し車を押しながら買い物ができるよう、田原本駅前、魚町、茶町、旧田原本町の道を整備してほしい。また、所々で休めるところがほしい。
町民が高齢化するので、近隣の人たちの老人に対する気づきを大切にする。老人が1人で住んでいる場合は町等に訪問した老人たちの相談にのってもらいたい。
動けなくなった時、とりあえず相談できる窓口があれば少し心強い。
高齢者労働を充実させてほしい。
疾病の予防に力を入れ、介護保険の負担の低い市町村を見習って年金生活者でも払える額にして頂きたい。
子育て支援も重要であるが、高齢者・介護支援サービスの充実にもっと力を入れてほしい。
老人が住みやすいように福祉、介護にも力を入れてほしい。また、ヘルパーの制度も充実させてほしい。
高齢者にとって住みよい町にして頂きたい
高齢者の住みよい町にしてほしい。
高齢者も安全、便利で笑顔で住める田原本町を望む。
介護サービスの充実した、高齢者や障害があっても安心して暮らせる町を望む。

#### (4) 障害者福祉

障害者にとって住みよい町にして頂きたい。
障害者など弱者に対する取り組みを考え、誰もが安心して暮らせる町づくりをしてほしい。
障害者の児童が普通に公立の幼稚園、小学校、中学校と通えるまちづくりをしてほしい。
障害者が低価で通え、有意義な時を過ごせる様な施設の充実を望む。

#### (5) 保健・医療

保健・医療の充実が最も大切。
病院の専門科を増やす。(婦人、脳外、精神など)
皮膚科の病院がほしい。
健康寿命を延ばす為に予防となる情報の発信、指導者の育成を望む。
子どもの医療費を無償にしてほしい。
他の市町村にあるような不妊治療助成制度を田原本町にも作って頂きたい。

#### (6) 生活福祉

社会保険料、健康保険料の引き下げを望む。
国民健康保険料、介護保険料が高く非常に生活しにくい。町の行政改革が必要ではないか。

## 福祉全般

田原本町独自の子供や老人に対する支援策を考えて頂きたい。
少子化対策だけでなく高齢者、障害者へも支援をしてほしい。
双方の刺激になるよう、老人ホームの隣に幼稚園を設けてほしい。

## 基本施策2 人が生きいきと輝くまなびのまちづくり

### (1) 学校教育

若い人達が子どもを産んで育てたいと思える街にするために、他にはない特色を持った、幼・保育園や小中学校教育体制の充実を熱望する。
都市計画を見直し、学校間の格差を無くすのに全力を注いで欲しい。
子供がいろいろなものに興味を持つよう、放課後や夏休みの体験講座を増やしてほしい。
中学校給食の早期実施と終業式前日までの給食の実施を望む（近隣市町村は実施）。

### (2) 生涯学習

多くの人が生涯学習に参加出来るよう、申込金の町負担について一考をお願いしたい。また、多くの講座があると良いと思う。
イベントの際や、休日だけでもいいので、田原本駅から青垣学習センター、中央体育館などへのシャトルバスがあれば、図書館の利用者など増えるのではないかと思う。
志貴高の校舎を、子供の共同生活体験学習に利用し、高齢者にのこぎり、カンナなど道具の使い方やオモチャの修理等を教わるのもよいのでは。

### (3) スポーツ・レクリエーション活動

箱物は多いのに中身が活性化されていない。年配者の健康づくり等のプール、スポーツセンターの利用援助などを望む。
町営プールを作って欲しい。
やすらぎ体育館や第一体育館等の老朽化が進む一方なので、早急に何とかして欲しい。体育館の利用料を安くして欲しい。
スポーツ施設、公園（広い）を設け、休日の充実化を計って欲しい。

### (4) 歴史的文化

新しいまちづくりを目指しながらも古い文化財や街並み農村、田園などの伝統は残してほしい。
歴史のある町なので、町が伝承してきた民話や文化・歴史をより深く紹介する場をもっと増やして欲しい。
豊臣秀吉の家臣で「賤ヶ岳の七本槍」の一人である、平野権平長泰が治めた場所である所をまちづくりの一つとして推していくべきである。
唐古鍵遺跡の整備は、メンテナンス等を考えると、負の遺産になるのではないかと思う。
唐古鍵遺跡と考古学ミュージアム、田原本駅への交通手段を整備して欲しい。
歴史のある場所にゴミ集積施設を作ることに反対する。

## (5) 人権の尊重

学校で子ども達に英語や母国語、母国の料理を教える授業等、子ども達が多くの方と人種を越えて共に学び、共に平和について考える機会をつくる。
---

## 基本施策3 都市基盤が充実したまちづくり

### (1) 市街地整備

町の中心地である駅前の整備を重点的に実施してほしい。
利用者がある程度ある駅なので、駅周辺と24号線沿いをもっと整備したほうが良い。
西田原本駅と田原本駅を橋染して一体化してほしい。
町南部、笠縫駅周辺を開発して便利にしてほしい。
笠縫駅周辺を整備して欲しい。
駅前道路の整備、大型スーパー（コストコ等）の誘致など積極的に行ってほしい。
田原本駅前の大規模な整備、商業施設の充実を図って欲しい。
駅前駐輪場を平面に作ってほしい。高齢者には入れにくい。
駅前にファーストフード店等があれば、少し休める場所になるのでは。
町の個人の店には駐車場の有る所が少ないので共同の駐車場がほしい。
宅地開発を進め、人口を増やすことを望む。
市街化調整地区を早く解除すると町は活性化する。
土地の調整区域の規制緩和を望む。
農振地域の縮小を望む。
駅周辺や街の高層化制限をして欲しい。新興住宅開発はやめ、旧来住宅の改築を推進すればよい。農地は大規模な組織の運用を計り、家庭菜園を残せばよい。
道路が曲がりくねっていたり、水路が多く危険。住宅が点在となっており、町全体の区画整理ができていない。さらに農地は雑草だらけのところ多く、1区画が小さく混在している。整理整頓できないか。町の極限で押し進めることできないのか。

### (2) 道路交通

田原本警察署前の道路脇の歩道との境にあるコンクリートの路肩帯を早く取り除いてほしい。県外の自動車が乗り上げてしまうなどがあり、大変危険である。
狭い道ばかりで車がすれ違うのも大変である。せめて寺川の土手を遊歩道にしてほしい。
24号線沿いの歩道の整備（高低巾）をお願いしたい。
車いすの人が自分で安全に行動出来る道づくりが必要だと思う。
自転車や歩行者が安心、安全に通行できる道路の整備を望む。
自転車にやさしい道路づくり。特に中央体育館のアクセスを良くしてほしい。
自転車道を作って欲しい。
住宅街に通り抜ける車が多過ぎる為、道路の整備計画を見直して欲しい。
近鉄田原本駅の東出口から左右一方通行のみで坂手から国道24号に出るまでの道路が狭い。
三笠交差点の整備を希望する。
町中の通路の整備をお願いしたい。

道路の整備。特に五光温泉南側の道路が危険。
広陵町の様に道路の拡張事業を行ってほしい。道路が狭く、車で走るにも不便である。車道幅も狭い。自転車道路も希望。
駅までの幹線道路の整備を望む。
京奈和道田原本ICの早期設置を県に強く依頼したい。
町内を巡るバスがあれば、未だ知らない町の歴史や文化にふれる機会も増えると思う。
町を走るバスがほしい。
バスの充実を望む。
町内巡回バスなど、町内を網羅する公共交通機関が欲しい。
町内を循環するバスを走らせ、買い物も町内で出来るようにすれば、活性化すると思う。
駅から国保の間にバス停が何カ所かあればいいと思う。
車のない世帯のためにコミュニティバスかタクシーを増便してほしい。
コミュニティバス、デマンドタクシー増、道路の歩道を確保してほしい。
「ももたろう」のタクシーは前日、予約制なので急用の場合は利用しにくい。気軽に当日でも手続きできるような制度にかえてほしい。
J Rの駅がなくて不便に思う。
現在近鉄は京都行急行しかないが、難波行急行を交渉して欲しい。

### (3) 上下水道

水道代をもう少し安くしてほしい。
まだ下水道の家庭への引き込みが済んでいない家庭への推進をお願いしたい。

### (4) 住環境

企業誘致等は、広く県単位で行い、町としてはその通勤圏としてある程度自然を残して、住環境（交通、子育て教育、福祉etc）を良くしていく、というのがよい。
結婚して住宅が希望するような環境にあることが重要。
他県の市町村自治体と連携して簡易宿泊所を整備し、多くの観光客に提供する等、活性化を進めて明るく防犯・設備も整う安心した町にしていく努力が必要だと思う。
発展と防犯・平穩のバランスを考えてほしい。
定期バスがなく、コンビニも近所にないのでとても住みにくい。
犯罪防止のための、夜間に明るい町づくりを望む。
笠縫駅より24号線へ出るまでの道路が暗く不安を感じるので、防犯対策をお願いしたい。
田原本駅西側の見回り、環境美化、防犯をお願いしたい。
県道広陵線の歩道の見直し、更には夜間の街頭の設置等で安心、安全な「まちづくり」が得られるようお願いしたい。
電灯の設置等防犯にも力を入れてほしい。
寺の周囲の辺りが気持ち悪い。
街灯がついていない暗い道が多く夜間の道は怖い。
街灯を増やしてほしい。

用水路の側面に防御柵を設置してほしい。
寺川水路の護岸整備を望む。
路上駐車をどうにかして欲しい。
高齢者の交通事故対策を早急に町政の中で考えて頂きたい。
町役場は安全な環境づくりについてもっと厳しく取り決めてほしい。
歩道は人優先で、自転車も可にしてほしい。
道路沿線に植樹が必要。

## 基本施策4 快適に生活できるまちづくり

### (1) 環境負荷の低減

地域に安心して定着、定住できる環境づくり。水と空気と自然の豊かさ、特に大和川、寺川などの大きな河川を県外にアピールできる環境づくり。
自然環境を破壊しないで欲しい。道路・護岸工事等で無駄なものは行わないで欲しい。
町の河川にゴミが多く捨てられているが、なかなか改善されていないので厳しく取り締まる方策を考えてほしい。
不燃ごみの小袋があればいい。
一部ゴミ回収の有料化は負担。年金生活者にとって住民税は高い。
ごみ焼却場を町内に作ってほしい。
不透明なゴミ処理場計画を中止してほしい。
ごみの収集所や焼却所など、空気汚染について、かなり気になる。

### (2) 快適な生活環境

子供達が車等を気にせず遊べる公園等があればいいと思う。
唐古・鍵遺跡跡の公園整備を望む。
犬の散歩の時、フンはきちんと持ち帰ってもらいたい。見回りの人がいるとありがたい。
小阪の町内放送時に大音響で演歌を1番も流されるので何とかして欲しい。
田原本駅と西田原本駅の間にゴミ箱や喫煙スペースの設置をして欲しい。周辺施設への影響やゴミのポイ捨てがひどい。

## 基本施策5 活力湧き出る産業振興のまちづくり

### (1) 農業

町域での地産地消のアピールできるものを考える。
特産品（農産物を含む）の創出を望む。
農業において他にないものを出すことができればアピールできるのではないかと。
農業をプロジェクト化して産業にすれば良いのではないかと思う。
農作物の販売、軽食など、駐車場でフリーマーケットを開催して田原本町の知名度の向上を図る。
農地の有効活用。桜井市をモデルとして、団体営農により雇用を創出する。どのような計画を立て、どのような結果となったかも広報誌に掲載してほしい。
農業用水路や川の水位を調整する仕組み作りを希望する。また、堤防道路のひび割れ補修や堤防が

決壊しない様に補強と保全をお願いしたい。

## (2) 商業

駅前の商店並びに旧町のにぎわいが無い。

駅周辺の道路が狭く、昔の商店のなごりはあるが活気がないので、若い人達にも魅力的な元気な町になってほしい。

空き店舗（テナント募集）が多い。飲食店をもう少し増やしてほしい。

高齢でも地域内で生活を楽しめる様な取り組み、生活用品等の買い物が近くで出来る様な施設がある事を望む。

飲食店や本屋、CDレンタルショップなどが少なく不便に思うことが多い。

お惣菜を買える店がほしい。

とにかく店が少ない。カフェも少ないし、スーパーも小さい店ばかり。大きな店を作らないと人は来ない。

スーパーの場所が1カ所に片寄りすぎているので分散してほしい。

商工会や役場が一体となっていないので、町内でのイベント等は役場がある程度把握が必要と思う。

## (3) 企業活動の活性化

若者が活躍する場、活躍出来る企業の創出。

活性化のために企業誘致が必要だと思う。

大学誘致など地域から都市化へ軸足を移動することが必要だと思う。

国道24号線沿いの企業誘致を推進し活性化を図ってほしい。

24号線沿いの商業施設の充実。

大型商業施設を田原本に誘致する。

## (4) 観光

文化財・歴史的遺構マップ等の作成などやPR活動の展開など、集客を工夫する。

唐古等の歴史のある場所の観光施設と、スーパー銭湯の施設がほしい。

榎原の今井町、大和郡山などのように空き家の有効利用、外部への観光の発信なども積極的に行い、観光客がもっと訪れるようにしてほしい。

太安万侶は、古記事編纂に関係がないとの認識が広がっている。目玉にするのは疑問。

旧町内の空洞化対策。特産品の開発、商農連携事業による活性化。

地域特産品の創出、特産加工品の開発を行う。

町民マラソン大会などスポーツイベントを行うといいと思う。

ふるさと納税の商品の充実化を検討してはどうか。

## 基本施策6 効率的な計画推進をめざしたまちづくり

### (1) 住民参加

行政が行うことと、住民が参加して自主的に実施する事業を明確化し、住みよい町づくりをする（たとえば自治会に委託した事業も検討する）。

町づくりの一環として”まちライブラリー”という仕組みが空き家活用に有効では。施策、イベント間の連携がさらに強化され、発言力がUPすれば、相乗効果による効果が表れるのではないか。
昔のように婦人会、子供会、老人クラブ等の町全域での活動を活発化させる。
大学生（留学生、日本の大学生）が下宿出来るための空家対策。下宿のための軽減策（補助）で支援するとともに、町のコミュニティーに参加してもらう。
住民主体の行政示進の確立（住民参加形行政の導入）。
30代・40代の人々が活躍できるまちづくりを望む。
現役世代への投資。力の集中を望む。
ボランティア活動に対する施設の使用料を無料にしてほしい。
町に活気が無いように思う。各種イベントや福祉運動も個々に単発であり連携感がない。大きなうねりを感じるような市民活動があれば良いと思う。
他の市町村と比較し地域住民との交流が少ない。（各種大会等、全員参加型での開催）運動会等を実施しては。
働き盛り世代に田原本に興味を持ってもらう事が大切だと思う。地元の間と他所から来た人間の交流も必要だと考える。
地域における助け合いのネットワークを作ることの重要性は理解できるが、村社会の中では昔からそれぞれの家で何らかの形で世間のしごらみがある。行政が改めて指導するものではなく、個々の人間関係にまかせてはどうか。
古い風習も大切だが、そのままでは若い人が残らない。
自治会、各協議会などのメンバーは従前より一部の限られた方達であり偏りがみられる。経歴や経験実績のある方達へのバトンタッチも必要だと思う。
選ばれた人やまちづくりを知り参加している人々で動いている様に思う。もう少し各自治会等に積極的に働きかけ、ひろい年令の方々に知ってもらい取り組みを勧めていかないと深くはなっていかず、うわべだけになる様に思う。
“学校役員”“自治会費”“自治会の当番”等、親と子どもだけで生活している家庭は免除してほしい。
「第3次総合計画」など、このような取り組みの存在自体知らなかった。
第3次総合計画の内容があまり理解できていないので正直な所満足度もよく分からない。まちづくりについても10年間であまり変化がないように思う。
年令、職業等、幅広い層から意見、参加を募る。
まちづくりについては、町民の意見をたくさん取り入れられるように工夫を行って頂きたい。（例：インターネットを用いて町民の意見を書き込める等）
町政に携わる者がどんな町にしていこうと考えているのかを提示し、町に対する思いや夢を町民でディスカッションしてみてもどうか。
このようなアンケート調査で町民の声をたびたび聞きながらまちづくりに取り組んでいただきたい。
これからのアンケートは、もっと回答の自由度を上げる様なものにしてもらいたい。
当該アンケートの集計結果の公表、並びに町政としての執行政策の公表を希望する。

非常に行政的で回答しづらいアンケートでしたので、すべて回答できなかった。アンケートをとること自体は素晴らしいことだと思うので、もう少し住民目線でアンケートをつくってはどうか。
なぜこの時期にアンケートを実施されたのか分からない。番号を選ぶだけで実際には内容がない気がする。
アンケートの結果を分析し、5年後10年後の田原本町の目指す姿を町民に示してほしい。
取組内容(まちづくり)に関する情報発信が不足しているので、分かりやすく発信する方法を考えてほしい。

## (2) 行財政運営

今あるべき問題をどう改善、見直していくべきであるか町長をリーダーとして進行して考えるべきではないかと思う。
今度の町長選挙には古い考えの人ではなく、新しい考えを持って田原本を改革して欲しい。
最近、町長が飲酒運転で逮捕の報道が流れ、議員役員などの不正や違法な行為が目立つ様に思う。特に町長に関しては辞職ではなしに解雇すべきだと思う。
せっかく予算を使っただけのアンケートなのでムダにしないほしい。一から意識改革が必要。研修等を通じて職員の資質を向上させてほしい。まずは幹部の意識改革から行ってほしい。
一部の人が補助金等を独占している。役場の人間の質の向上を。
財政が厳しい時は職員の給与を減らす等、行政の努力が町民に分かるようにすべきである。公共施設の所在地、電話等の開示が不十分である。
人口に比べて、役所、青垣C等の公共及び町議員など公務員の削減が必要である。
町の職員がもっと頑張るべき。覇気がない。
町役場に行くとき職員は官僚気味な応答なので、公僕として話して欲しい。
町民のために町役場の人が全員で知恵を出し合っただけで変えていくことが必要である。
法的な相談窓口も、いつでも利用できると思う。
道路造り等の公共事業はもっとスピーディに実施して欲しい。時間がかかりすぎる。
ここに何を書いてもただの要望で終わってしまう。期待が出来ない。アンケートを取っても意味が無いのでは。
行政自身が法令遵守できる仕組み作りが必要。
統合計画は必要だが、後先順位をつけて実行すること。議会(議員)の協力が必要である。専門業者を使うことも必要である。
増税の前に財政の見直し等、見本を示す必要がある。これらの施策が一向に見てこない。アンケートを元に的を射た行政をお願いしたい。
いろいろなことを並行して実施するのではなく、田原本町の特性を生かし、そこに人、金を重点的に投入してほしい。
施設などを有効に活用する。
もっとコンパクトな行政を目指し、少子化の今後における重点を明確に示してもらいたい。どこの世代を大切にすることで今後の町の将来が決まると思う。
コンパクトシティを目指し、ライフラインにかかる負担を減らす。
都市計画税を廃止してほしい。



税金を納めるだけでなく、町民に還元できる行事等を、年数回したらどうか。
子育て世代、高齢者以外の年代の者にも平等に税金が使われてほしい。
田原本は税金が高い。
税金を少なくしてほしい。
借入金の返済を早めるために全事業ごとに0.01%を削減し、その額の70%を返済にあて残額30%を再配分するのも一考である。
行政改革により財政の健全化を図る。
財政の健全化（地方債発行0の町に）。
プレミアム商品券の手続きについて、年寄りにはパソコンなど分からず手続きにいけない。
山辺県北西部広域環境衛生組合に加入してほしい。
町営の墓地、霊園の設置を実現してほしい。
町営の火葬場の整備等、葬儀費用が高い。

## その他

まちとして他のまちにはない絶対的に自信があり力を入れている事をアピールして差別化をしないと魅力あるまちとは言えない。
これだけは他の市町村には負けないというアイテムを作る。
何か目玉になる魅力的なものを創り、人が田原本に住みたくなるような環境にする。
田原本町が特徴としている田園都市としての特性がおとろえている気がする。特色ある都市づくりを創出して県の中央に位置する振興策を創出してほしい。
大阪・京都へ1時間及び王子八木、西大寺3方向への交通等、立地の好条件と自然豊かな環境等のアピールが大切。
田原本はイオンモールなど、他市町村の商業施設から近く京奈和、西名阪なども入りやすいので県内でも外出しやすい。そういった強みを活かしていけたらと思う。
地理的に田原本町はベッドタウンのような住みやすい場所として活性化すべきだと思う。
電車は急行がとまり大阪に出るのもとても便利なため、ベッドタウンとしてまちづくりをしてほしい。良い意味で「何もない町」として今の環境を残してほしい。犯罪率が低いことは安心して住むためにも必要不可欠な条件だと思う。
歴史が多く残る田原本町を活性化させるのに、点だけの状態。点と点を結ぶ事で田原本をアピールしてほしい。桜井市・天理市など近隣との協力や、奈良県の行事にもっと田原本町を売り込んでいく必要がある。
若い世代の人達が親の近くで一緒に住めるような支援（住居問題・金銭面など）を行う。
実家に戻って来た者への報奨金制度が必要。例えば地方税の減額等。
働く場を提供し、若い人の流出を防ぐ政策が必要。
若者が作る店舗への支援・協力の情報提供。土地・畑・町家の情報を提供する。
もっとスマートな町づくり、おしゃれな（若者を引き付ける）町づくりを望む。今井町のように若者を引き付ける”おしゃれな町屋”を作って欲しい。
将来を担う若者をいかに取り込むか、若い人が定住してくれる町づくりがすべての施策の基盤になると思う。20代の人々が住みたくなる町の理想像を把握して、それを現状改革に生かして欲しい。

<p>家族みんながイキイキすごせる町政をお願いしたい。</p>
<p>古い考えを少し控えて、現代の世の中の波に乗って新しい考え方に変えて欲しい。</p>
<p>特色のある街づくりとして、田原本町は” あれ” が素晴らしいといえるものを2つほどに絞って徹底する事が良いと思う。例えば、安心して便利に歩ける街（道）づくりと併せて街中ウォーキングルートづくり、住民参加による年間スタンプラリーの実施など。</p>
<p>これといった魅力ある町全体としての催しが無い。自然の環境を大いに活用し元気のある町にしてみたい。</p>
<p>田原本は都市ガスが無いので、特に冬場になると光熱費が高額でつらい。</p>
<p>五光温泉の発行券を増やしてほしい。</p>
<p>自分中心の人が多いため、思いやりが必要である。</p>

## 町民の皆さまとともに考え、ともに進めるまちづくり アンケート調査

### 調査へのご協力をお願い

平素は、町政全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、田原本町では第3次総合計画において「自然と歴史・文化が育む新しい生活拠点 たわらもと」をまちの将来像に掲げ、皆さまの温かいご理解、ご協力のもと各種施策を推進してまいりました。

この度、まちづくりの計画である第4次総合計画の作成の時期を迎え、町民 2,500 人の方をアンケート対象者として無作為抽出させていただき、広く町民の皆さま方のご意見、ご提言をうかがい、前期計画の検証を行いながら、今後5年間の田原本町の姿を描いていきたいと思っております。

大変お忙しいところ、お手数をおかけし、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 27 年 12 月

田 原 本 町

### ご記入にあたってのお願い

- ご記入にあたっては、宛名のご本人にお答えいただきたいと思いますが、都合によりご記入できない場合は、代わりの方で結構ですのでご記入ください。なおこの調査は、全てを統計的に処理いたしますので、ご迷惑のかかることは一切ございません。思いのままをお答えいただければ結構です。
- お答えは、あなたさまご自身のお考えに最も近い選択肢の番号に○印または回答欄にご記入してください。また、お答えが「その他」にあてはまる場合は、( ) 内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて 1月4日(月) までにご返信くださいますよう、よろしくお願いいたします。(切手は不要です)

【調査に関するお問い合わせ先】 田原本町役場 総務部 企画財政室総合政策課  
電 話：34-2083  
FAX：32-2977

## 町民の皆さんとともに考え、取り組むまちづくりアンケート調査

あなた自身のことについて、お伺いします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたの年齢はどの階層に属しますか。(〇は1つだけ)

1. 18～19歳	4. 40～49歳	7. 70～79歳
2. 20～29歳	5. 50～59歳	8. 80歳以上
3. 30～39歳	6. 60～69歳	

問3 あなたのお住まいは、どの小学校区ですか。(〇は1つだけ)

1. 田原本小学校区	3. 南小学校区	5. 平野小学校区
2. 東小学校区	4. 北小学校区	6. わからない(町名: )

問4 あなたの主な職業(兼業の方は収入の多い方)は何ですか。(〇は1つだけ)

1. 民間のサラリーマン(会社員等)	6. 家事専業(家事に従事している方)
2. 公的機関のサラリーマン(公務員、教員等)	7. 無職(年金等生活者等)
3. 自営業(商店、企業経営等)	8. パート、アルバイト
4. 農林漁業	9. 学生
5. 専門的職業(医師、弁護士、芸術家等)	10. その他(具体的に )

問5 あなたの世帯はどれにあてはまりますか。(〇は1つだけ)

1. ひとり暮らし	5. 親と子どもと孫(三世代家族)
2. 夫婦のみ(一世代家族)	6. 母と子ども(母子家族)
3. 親と未婚の子ども(核家族)	7. 父と子ども(父子家族)
4. 親と子ども夫婦(二世世代家族)	8. その他( )

田原本町の暮らしやすさについて、お伺いします。

問6 田原本町での住みごこちはいかがですか。1つだけ選んでください。

1. 非常に暮らしやすい	} ⇒問7へ	5. やや暮らしにくい	} ⇒問8へ
2. 暮らしやすい		6. 暮らしにくい	
3. まあ暮らしやすい		7. 非常に暮らしにくい	
4. どちらともいえない	⇒問9へ		

問7 問6で「1～3」とお答えの方におたずねします。

その理由は何ですか。2つまで選んでください。

1. 自然環境がよいから	8. 住み慣れて愛着があるから
2. 生活環境がよいから	9. 自分の家や土地があるから
3. 保健・医療環境がよいから	10. まちの雰囲気が好きだから
4. 福祉環境がよいから	11. 商売や事業に有利だから
5. 教育環境がよいから	12. 通勤や仕事の関係で便利だから
6. 交通の便がよいから	13. その他
7. 古社寺・史跡・文化財が多いから	( )

問8 問6で「5～7」とお答えの方におたずねします。

その理由は何ですか。2つまで選んでください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 自然環境が悪いから    | 8. 住み慣れず愛着がないから    |
| 2. 生活環境が悪いから    | 9. 自分の家や土地がないから    |
| 3. 保健・医療環境が悪いから | 10. まちの雰囲気嫌いだから    |
| 4. 福祉環境が悪いから    | 11. 商売や事業に不利だから    |
| 5. 教育環境が悪いから    | 12. 通勤や仕事の関係で不便だから |
| 6. 交通の便が悪いから    | 13. その他            |
| 7. 歴史的環境が悪いから   | ( )                |

問9 あなたは、今後も田原本町に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んでください。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. ずっと住み続けたい     | 3. 他の市町村に移り住みたい |
| 2. 転勤等で転出せざるを得ない | 4. わからない        |

問10 あなたが日常生活の中で困ったり、不安に思ったりしていることは何ですか。3つまで選んでください。

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. 医療機関・医療費のこと      | 11. 子育てのこと             |
| 2. 本人・家族の健康状態のこと    | 12. 子どもの進路のこと          |
| 3. 高齢者・障害者・病人の介護のこと | 13. 家計のこと              |
| 4. 保健・福祉サービスのこと     | 14. 住居のこと              |
| 5. 公共交通の利便性のこと      | 15. 近所付き合いのこと          |
| 6. 道路事情のこと          | 16. 近くに頼れる相談相手がないこと    |
| 7. 自由な時間が取りにくいこと    | 17. 家族関係のこと            |
| 8. 仕事のこと            | 18. 老後のこと              |
| 9. 後を継いでくれるものがないこと  | 19. その他 ( )            |
| 10. 結婚のこと           | 20. 困ったり、不安に思っていることはない |

問11 あなたにとって、いま一番大切に思うことは何ですか。1つだけ選んでください。

- |               |           |            |
|---------------|-----------|------------|
| 1. 健康         | 4. 子どもの成長 | 7. 趣味・余暇活動 |
| 2. 明るい家庭      | 5. 安定した生活 | 8. その他     |
| 3. 地域の人とのふれあい | 6. 仕事     | ( )        |

田原本町第3次総合計画の満足度、充実度について、お伺いします。

問 12 田原本町では、第3次総合計画において、6つの基本施策に基づき、様々な取組を行ってきました。それらの取組の内容について、どの程度満足されていますか。また、今後どの程度力を入れていくべきだと思いますか。それぞれについて、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

基本施策	【現在の満足度】					【今後の重要度】				
	とても満足している	ある程度満足している	普通	あまり満足していない	全く満足していない	とても重要である	ある程度重要である	普通	あまり重要ではない	全く重要ではない
<b>基本施策1 共に幸せを感じられるまちづくり</b>										
(1) 地域福祉 地域福祉活動の推進、地域福祉のネットワークづくり (地域における助け合いのネットワークをつくる地域支援事業、ふれあいセンター事業実施等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 児童福祉 地域における子育て支援の充実、保育サービスの充実 (保育所での保育や地域子育て支援拠点事業実施等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 高齢者福祉 健康寿命の延伸、介護予防の推進、生活環境の充実、介護保険事業の適切な運営 (地域包括支援センターでの介護予防の普及啓発講座、相談等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 障害者福祉 障害者福祉の推進体制の充実、地域社会への参加・雇用の促進 (障害福祉サービスの利用支援や障害者相談支援事業実施等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 保健・医療 各種保健事業の展開、地域住民の主体的な健康づくりの支援、救急医療体制の整備 (ガン検診の実施や磯城休日応急診療所の充実等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6) 生活福祉 国民健康保険の充実、社会保障の充実 (国民健康保険の運営や国民年金の適正加入の啓発等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

基本施策	【現在の満足度】					【今後の重要度】				
	とても満足している	ある程度満足している	普通	あまり満足していない	全く満足していない	とても重要である	ある程度重要である	普通	あまり重要ではない	全く重要ではない
<b>基本施策2 人が生きいきと輝くまなびのまちづくり</b>										
(1) 学校教育 幼児教育の推進、小・中学校教育の推進、特別支援教育の推進 (幼稚園や小・中学校での教育環境の整備等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 生涯学習 学習体制の充実、生涯学習環境の充実、図書館事業の充実、文化活動の促進 (田原本青垣生涯学習センターにおける、公民館、弥生の里ホール、図書館での事業実施等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) スポーツ・レクリエーション活動 スポーツに親しむ環境の整備、スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発 (健康スポーツの集い・スポーツ教室の実施、学校運動場の開放等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 歴史的文化 文化財の保存と活用、郷土愛・文化財愛護精神の育成 (唐古・鎌遺跡等の文化財の保存と活用等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 人権の尊重 人権尊重の視点に立った行政の推進、男女共同参画社会の推進 (差別をなくす集会開催や男女共同参画意識の醸成等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>基本施策3 都市基盤が充実したまちづくり</b>										
(1) 市街地整備 計画的な土地利用の推進、田原本町駅周辺整備の促進 (田原本駅周辺の整備や市街地の活性化等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 道路交通 幹線道路の整備、生活道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 上下水道 経営の安定化、より良質な水の安定供給、公共下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 住環境 誰もが暮らしやすいまちづくりの推進、地域防災体制の強化、地域防犯体制の充実、交通安全対策の推進 (自主防災組織活動や町内パトロール等の防犯活動、交通安全対策運動の推進、住宅の耐震化促進等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

基本施策	【現在の満足度】					【今後の重要度】				
	とても満足している	ある程度満足している	普通	あまり満足していない	全く満足していない	とても重要である	ある程度重要である	普通	あまり重要ではない	全く重要ではない
<b>基本施策4 快適に生活できるまちづくり</b>										
(1) 環境負荷の低減 環境保全推進システムの構築、環境学習の推進、廃棄物の抑制とリサイクルの推進 (小学生への環境学習の推進や新ごみ処理施設の建設等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 快適な生活環境 生活環境の保全、公園・緑地の整備 (公害の防止や公園の整備・管理等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>基本施策5 活力湧き出る産業振興のまちづくり</b>										
(1) 農業 担い手の育成・支援、安全・安心・信頼の確保、経営を支える生産基盤の整備 (農産物の生産振興やブランドイメージの確立等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 商業 中心市街地及び市街地の活性化、商業・サービス業活動の推進 (空き店舗対策等の市街地の活性化等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 企業活動の活性化 既存企業の活性化、企業誘致活動の推進 (中小企業の育成や企業誘致の実施等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 観光 観光交流資源の魅力向上、自然資源や歴史・文化資源の保全と活用 (観光ステーション「磯城の里」での活動支援や観光ボランティアの育成等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>基本施策6 効率的な計画推進をめざしたまちづくり</b>										
(1) 住民参加 地域交流・協働の推進、行政情報提供の充実 (自治会やボランティア団体の活動支援や町のホームページ等での情報発信等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 行財政運営 組織体制の充実、財政運営の適正化・効率化の推進、行政事務の広域的な連携 (職員の資質向上や行政サービスの向上、計画的財政運営等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1



田原本町のまちづくりについて、お伺いします。

問 13 この 10 年間で、特によくなったと思われるまちづくりの施策として、下の 1～34 の中から5つまで選んでください。

--	--	--	--	--

問 14 この 10 年間で、特によくなかったと思われるまちづくりの施策として、下の 1～34 の中から5つまで選んでください。

--	--	--	--	--

問 15 今後、行政と地域が一緒になって担うべきだと思われるまちづくり施策を、下の 1～34 の中から5つまで選んでください。

--	--	--	--	--

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健予防・医療の充実</li> <li>2. 子育て支援対策の充実</li> <li>3. 心を育てる学校教育の充実</li> <li>4. 学校・家庭・地域の連携による子どもの健全育成</li> <li>5. スポーツおよび生涯学習環境の充実</li> <li>6. 若者どうしの交流の場づくり</li> <li>7. 高齢者保健・介護保険サービスの充実</li> <li>8. 生きがいづくり</li> <li>9. 障害者福祉・医療の充実</li> <li>10. 男女共同参画社会の形成</li> <li>11. 世代間交流の推進</li> <li>12. ボランティア活動の支援</li> <li>13. 次代を担う人材・グループの育成</li> <li>14. 自然環境の保護</li> <li>15. 文化財の保護</li> <li>16. 良好な住宅の確保</li> <li>17. 環境美化とまちの景観づくり</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>18. バリアフリー*のまちづくり</li> <li>19. 安全な遊び場の確保</li> <li>20. まちの防犯・防災対策</li> <li>21. 農地・水辺の保全と活用</li> <li>22. 生活排水・ごみ処理対策の推進</li> <li>23. 公共交通機関の確保</li> <li>24. 広域道路交通網の整備</li> <li>25. 芸術・文化の振興</li> <li>26. 地域アイデンティティ*の形成と情報発信</li> <li>27. 地域間・国際交流の推進</li> <li>28. 観光交流ネットワークの確立</li> <li>29. 特産品づくりと地場産業の振興</li> <li>30. 雇用の場の確保</li> <li>31. 行財政運営の効率化</li> <li>32. 広域行政の推進と地方分権*への対応</li> <li>33. 住民参加のまちづくり</li> <li>34. その他 ( )</li> </ol> |
|--|---|

※バリアフリー：「障壁のない」の意。建築設計において、段差や仕切りをなくすなど高齢者や障害者に配慮をすること。  
 ※アイデンティティ：他の人・物と異なってもっている独自性。「自分が自分であること」「地域らしさ」を表わす。  
 ※地方分権：国の権限や財源を地方自治体に移譲すること。「国から地方へ」「官制から民間へ」など、地方自治体が担う公共の役割分担の流れの中で、中央省庁・都道府県・市町村の権限の再整理を行うとする動きをさす。

問 16 地方分権時代の到来により、うるおいある豊かな地域社会を築いていくためには、町民がまちづくりに積極的に参加していくことがますます重要になっています。今後、あなた自身がまちづくりに参加することについてどのようにお考えですか。1つだけ選んでください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. まちづくりに住民参加は不可欠であり、機会があれば積極的に参加したい</li> <li>2. まちづくりに住民参加は必要であるが、関係団体などの選ばれた人が中心になって進めるのが望ましい</li> <li>3. まちづくりに住民参加は必要であるが、自分としては参加できない</li> <li>4. 現状のままで満足しており、住民参加の必要はない</li> <li>5. その他 ( )</li> <li>6. わからない</li> </ol> |
|--|

問 17 あなたは、田原本町が将来どのようなまちになることを期待しますか。3つまで選んでください。

1. 文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史のまち
2. 伝統文化を継承するなど、芸術文化活動が盛んなまち
3. 自然環境を保護し、緑地や田園風景を大切にした豊かな自然のまち
4. 都市施設が整い、暮らしの上で機能的なまち
5. 買い物などがしやすい、便利な生活空間があるまち
6. 交通事故や公害、災害のない安全なまち
7. 優しさあふれる心あたたかな福祉のまち
8. 住民の健康を守り、その増進を図る健康のまち
9. 子どもからお年寄り、障害者も生活しやすい福祉のまち
10. 仕事（就労の場）と生活（憩いの場）のバランスがとれたまち
11. 子どもたちの個性や創造性を育む教育が充実したまち
12. 年齢を問わず学習できる生涯学習が充実したまち
13. 海外との交流を盛んに行う国際的なまち
14. 観光客などが訪れる魅力ある観光のまち
15. 地場産業や農業の振興を図るまち
16. 他自治体との連携により、地方分権に対応した幅広い住民サービスが提供できるまち
17. その他（ )
18. 特に期待しない

問 18 まちが誇れるもの、あるいは魅力に何がありますか。3つまで選んでください。

- |                               |              |
|-------------------------------|--------------|
| 1. 田園風景が残る自然環境の豊かさ            | 7. 太安万侶のふるさと |
| 2. 唐古・鍵遺跡に代表する豊かな遺跡群・文化財      | 8. 桃太郎のふるさと  |
| 3. 公共施設の充実                    | 9. 田原本町に住む人々 |
| 4. 国道、京奈和自動車道開通による利便性の高い道路交通網 | 10. 特産品（ )   |
| 5. 鉄道交通の利便性                   | 11. その他（ )   |
| 6. 国道沿いの商業施設の充実               | 12. 特にない     |

定住促進や子育て支援による人口減少抑制策について、お伺いします。

田原本町では、近年、転出者が増加するや出生数が減少する等人口が減少しています。人口の減少を少しでも食い止めるために、田原本町では、今年度「田原本町人口ビジョン」、「田原本町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に取り組んでいます。

問 19 人口減少を克服し活力ある社会を目指して、行政が取り組むべきことは何だと思えますか。3つまで選んでください。

1. 産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組
2. 子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組
3. 移住の促進や定住・Uターンなど町内の人口を増加させる取組
4. 自然や特産品、文化財といった地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創る取組
5. 農村の魅力づくりや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組
6. コンパクトシティや小さな拠点、公共交通の充実など、持続可能な地域を目指す取組
7. その他（ )

問 20 定住・移住してもらうために田原本町が行えばよいと思う取組は何ですか。3つまで選んでください。

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 定住・移住相談窓口の設置     | 13. 商業活性化等まちのにぎわいの創出    |
| 2. 地域やまちの情報の発信      | 14. 公共交通機関の充実           |
| 3. 住宅斡旋、空き家情報の提供    | 15. 道路等の都市基盤の整備         |
| 4. リフォーム等住み替えにかかる支援 | 16. 良好な自然環境の保全          |
| 5. 住宅購入・家賃の支援       | 17. 観光・交流の振興            |
| 6. 就職や就業の支援         | 18. 芸術・文化の振興            |
| 7. 働く場の創出（企業誘致等）    | 19. 地域活動やボランティア等市民活動の充実 |
| 8. 農業の振興            | 20. 若者が活躍する場の提供         |
| 9. 防犯・防災等の安全・安心の充実  | 21. 地域の愛着を育む取組          |
| 10. 医療や福祉施策の充実      | 22. まちのイメージアップへの取組      |
| 11. 子育て支援の充実        | 23. その他                 |
| 12. 学校教育等教育環境の充実    | （                       |
|                     | ）                       |

問 21 これから少子化に歯止めをかけるため、こういった取組に力を入れるべきだと考えますか。3つまで選んでください。

- |   |
|---|
| 1. 保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減 |
| 2. 育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境       |
| 3. 仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）等による働き方の見直し              |
| 4. 結婚につながる出会いの機会創出の促進                           |
| 5. 病児・病後児保育、一時・休日保育、放課後児童クラブ等の 保育環境の充実          |
| 6. 多子世帯に対する支援の充実                                |
| 7. 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備                    |
| 8. 生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成                      |
| 9. 幼児教育や少人数学級などによる教育環境の充実                       |
| 10. その他（  |
| ）   |

問 22 その他、まちづくりについてご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

---



---



---



---

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて 1月4日（月） までにご返信くださいますよう、よろしくお願いいたします。（切手は不要です）

あなたの貴重なお考えを今後のまちづくりに活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。